

令和6年度版『ひろがる言葉 小学国語 一・二年』複式学級年間指導計画（案）

単元・教材のねらいと、「学習指導要領」に示された「指導事項」「言語活動例」から、あてはまるものを表示。重点指導事項には、◎を付した。

△知識・技能 思考・判断・表現（◇話すこと・聞くこと ■書くこと □読むこと） ※複式学級や小規模校に関わる配慮事項

〔第1学年及び第2学年〕目標（「学びに向かう力、人間性等」の単元目標）

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。
- (3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

年間指導計画作成に関わる配慮事項

○1年生の学習経験と言語能力の実態を考慮して、入学当初は入門期指導を重視している。

○「読むこと」の単元の言語活動の発表・交流場面を同時にできるように配列している。それぞれの学年の学習の成果を相互に評価し合う時間を設定することで、学習の目的意識や学習意欲を高めることも期待できる。

○「書くこと」の単元をそらえて行うことで、児童が文章を書いたり、推敲したりする時間に、個に応じた指導・支援が行いやすいように配慮している。

一年						二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
4	3	なかよしの みち 教科書：P1 □挿絵を見ながら気づいたことを話し、話を想像しながら物語を楽しむとともに、国語学習への関心や意欲をもつ。	読む	第1時 1. 挿絵をもとに話を想像し、気づいたことを話し合う。 ・季節はいつか ・登場人物は ・どんなお話か 第2時 2. (一)・(二)・(三)の場面から想像したことを話し合う。 (1)場面を比べて気づいたこと話し合う。 (2)声に出して読む。 (3)登場人物がどんなことを話しているか話し合う。 第3時 3. このお話ですてきだな、いいなと思うところはどこか、話し合う。 (1)登場人物や背景となっているさまざまなもの、表情などに着目させ、発表させる。 (2)なぜそう思ったのか、理由が言えたら発表する。	【知識・技能】 ○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C1)イ) 【態度】 ・進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を話し合おうとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ)	2 (話す聞く2) すごろくトーク 教科書：P8 ◇いろいろな場面で、話す声の大きさを考えて、気をつけて話すことの大切さに気づく。 ☆学習用語：声の大きさ／伝える／相手／声の ものさし	話聞	第1時 1. 単元名とリード文を読み、学習の見通しをもつ。 (1)すごろくトークをするという学習の見通しをもって、学習計画を立てる。 (2)P8の「保健室での報告」「班の話し合い」「運動会の応援」「みんなの前で発表」の各場面について、「こえの ものさし」のどこに該当するか考える。 (3)ちょうどよい声の大きさを考えて、話す。実際に話しながら、「ものさし」の数値と実際の声の大きさを実感的に捉える。 第2時 2. すごろくトークをする。 (1)止まったまの言葉を声に出して読み、「 」の言葉を使う。 (2)ちょうどよい声の大きさを友達と一緒に考える。 3. 学習を振り返る。 (1)学習全体を振り返り、できるようになったことや感想を確かめる。 ※学んだことを1年生に伝えたり見本を見せたりするとともに、学級の約束を確認する。	【知識・技能】 ◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A1)ウ) 【態度】 ・進んで伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫し、今までの学習を生かしてすごろくトークをしようとしている。 【言語活動例】 ・紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。(A2)ア)		

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	2 (話す聞 く2)	あかるい あいさつ 教科書：P6 ◇学校生活のさまざまな場面の挿絵をもとに、挨拶の言葉を考え、場面に合わせた挨拶ができるようにする。	話聞	第1時 1. 挿絵の表情に着目し、どんな挨拶をするとよいか、楽しい一日を送るのに大切なことを考える。 (1)朝の登校の絵から挨拶の様子を話し合う。 ・誰と挨拶しているか ・何を言っているか (2)自分の挨拶はどうか、振り返る。 (3)挨拶の練習をする。 第2時 2. 挿絵をもとに、学校生活のさまざまな場面での挨拶や言葉のかけ方を練習する。	【知識・技能】 ○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ) 【態度】 ・積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の見通しをもって挨拶をしようとしている。 【言語活動例】 ・紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。(A(2)ア)	4 (書く4)	きょうのできごとを書きとめよう つづけてみよう ――日記 教科書：P10 ■毎日の生活を振り返り、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、日記を書く。 ☆学習用語：日記／日記のたね	書く	第1時 1. 例文を読み、日記がどのようなものか、日記には何を書けばいいのかを知り、学習の見通しをもつ。 第2時 2. 生活を振り返り、日記に書く材料を集める。 第3時 3. 日記を書く。 第4時 4. 友達と読み合ったり、家の人に読んでもらったりする。 5. 日記を書くときに気をつけることや題材の見つけ方などについて振り返る。 ※書いた日記を1年生に読み聞かせるなどして紹介する。	【知識・技能】 ◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・積極的に、経験したことや思ったことなどから書くことを見つけようとし、学習課題に沿って、日記を書いて友達と読み合おうとしている。 【言語活動例】 ・日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動。(B(2)イ)
	2 (話す聞 く2)	わたしの なまえ 教科書：P8 ◇自己紹介の場面の挿絵をもとに、話し方や聞き方について話し合い、言語生活を広げる。	話聞	第1時 1. P8を見て、学習のねらいと流れを知る。P9に名前の練習をする。自分の名前をカードに書き、自分の名前を友達に知らせる。 (1)自分の名前をカードに書く。好きな絵を描きたす。 (2)隣の人と名前カードを見せながら紹介し合う。 第2時 2. 紹介の仕方がわかり、学級のいろいろな人と進んで名前を紹介し合う。 (1)座ったままで、前後・左右の友だちと紹介し合う。 (2)席を離れて、自分から相手を見つけて紹介し合う。 ※2年生に自己紹介したり、モデルを示してもらったりする。	【知識・技能】 ○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ) 【態度】 ・積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の見通しをもって名前を紹介し合おうとしている。 【言語活動例】 ・紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。(A(2)ア)					

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	2	おはなし たくさん ききた いな 教科書：P10 △さまざまな本の読み聞かせを通して、読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。 ☆学習用語：お話	読書	第1時 1. 教科書の挿絵を見て、知っている本について話し合う。 第2時 2. 絵本の読み聞かせを聞く。 3. 絵本の読み聞かせを聞き、好きな場面について、簡単な感想を発表する。	【知識・技能】 ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)工 【態度】 ・積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって感想を発表しようとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを讀んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ)	2	たのしく こえに 出して よもう ちいさい おおきい 教科書：P12 □体を動かしたり、声の大きさを工夫しながら、楽しく読む。	読む	第1・2時 1. 単元扉を読んで、学習の見通しをもつ。 2. 詩を読んで、気づいたことを発表する。 3. 音読・表現の仕方を話し合い、発表会を開く。 ※1年生など、他学年に聞いてもらう場を設けるなどの工夫をする。	【知識・技能】 ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C1)工) 【態度】 ・進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを讀んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ)
	1 (話す聞 く1)	こえの おおきさ どれくら い 教科書：P12 ◇挿絵をもとに、場面に応じた話し声の大きさを意識する。 ☆学習用語：声の大きさ	話聞	1. 教科書の挿絵からどういう場面か、声の大きさはどれくらいがよいか、話し合う。 2. 実際に声の大きさを考えてやってみる。	【知識・技能】 ○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A1)ウ) 【態度】 ・積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の見通しをもって話そうとしている。 【言語活動例】 ・紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。(A2)ア)	12 (話す聞 く2)	一 どうじよう人物の した ことに 気を つけて 読も う はるねこ 教科書：P16 □◇場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、音読し、思ったことを伝え合う。 ★ここが大事：どうじよう人物 ☆学習用語：登場人物／様子／場面／音読	読む	第1時 <見通しをもとう> 1. 単元扉を読んで、学習の見通しをもつ。 (1)単元扉を読む。 (2)範読を聞き、登場人物や、大体のできごとを確かめ、感想をもつ。 第2～4時 <たしかめよう> 2. できごとや、人物のしたこと、場面の様子を確かめる。 (1)手紙の文章を読み、手紙ときんちやく袋が誰から届いたものなのか、いつのできごとについての手紙なのか確かめる。 (2)こまっているはるねこに、あやがしたことを見つけ、表にまとめる。 (3)そのときの場面の様子を見つ、表にまとめる。 第5～7時 <くわしくよもう> 3. 登場人物の様子がわかるように音読する。 (1)<たしかめよう>で確認したことをもとに、好きな場面を選んで、登場人物の様子がわかるように音読の練習をする。 (2)音読を聞き合い、どのような様子が伝わってくるかなど、感想を伝える。 第8・9時	【知識・技能】 ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C1)イ) ○「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A1)オ) 【態度】 ・進んで場面や登場人物の様子を捉え、学習課題に沿って音読を聞きあったり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを讀んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ)

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	3	かいて みよう 教科書：P14 △正しい鉛筆の持ち方、正しい姿勢に気をつけて、線をなぞったり文字を書いたりする。	言語	第1時 1. 文字を書くときの正しい姿勢と鉛筆の持ち方を知る。 (1)挿絵や写真を見て正しい鉛筆の持ち方、正しい姿勢に気をつけて、線をなぞる。 (2)姿勢と持ち方に気をつけて、運筆練習をする。提出されている線をなぞって書く。 第2・3時 2. 提出されている言葉を読んだり、挿絵と言葉に対応させたりして平仮名を練習する。 (1)P16の平仮名を書く。 (2)P17の平仮名を練習し、組み合わせを変えて他の言葉も書く。	【知識・技能】 ◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ) 【態度】 ・進んで平仮名を読んだり書いたりし、学習課題に沿って言葉を書こうとしている。				<まとめよう> 4. 物語の中に出てくるものから考える。 (1)はるねこから届いたきんちゃく袋の中身はどのようなものだったか確かめる。 (2)どんなたねが入っていたらうれしいか、そのたねのいいところとあわせて考える。 第10・11時 <つたえあおう> 5. 友達と伝え合い、それぞれの考えのおもしろいところを見つける。 (1)考えたことを友達と伝え合う。 (2)友達の考えを聞いて、おもしろいと思ったところを見つける。 第12時 <ふり返ろう> 6. 「ここが大事」を確認し、「ふりかえろう」の観点に沿って振り返りを行う。 (1)登場人物の様子を考える時に、どのようなことに気をつけたか。 (2)友達の考えを聞いて、おもしろいと思ったところはどんなところだったか。	
	1 (話す聞く1)	こえを あわせて あいうえお 教科書：P18 ◇姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意してはっきりした発音で読む。	話聞	1. 「こえを あわせて あいうえお」を、教師の後について音読する。 2. 「こえを あわせて あいうえお」を音読し、リズムのよさや声を合わせる楽しさを味わう。	【知識・技能】 ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A1)ウ) 【態度】 ・積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の見通しをもって音読しようとしている。 【言語活動例】 ・紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。(A2)ア)					

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	1	あいうえおを つかおう 教科書：P20 △母音や簡単な平仮名を正しく読んだり書いたりするとともに、音節と文字の関係に気づき、姿勢や口形、発声や発音に注意して話す。	言語	1. 挿絵を参考にしながら、「あいうえお」で始まる言葉を見つけ、声に出して読む。 2. 姿勢・鉛筆の持ち方に気をつけて、平仮名を丁寧に書く。	【知識・技能】 ◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ) ○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ) 【態度】 ・積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の見通しをもって声に出して読もうとしている。					
	3 (話す聞く3)	みつけて はなそう、はなしをつなごう 教科書：P22 ◇挿絵をもとに話題を見つけて話し合い、相手の話題に対して、簡単なことを尋ねたり応答したりする。	話聞	第1時 1. 挿絵を見て、誰がいるか、どんなことをしているかなどを話し合う。 第2時 2. 挿絵から話題を見つけ、例示のように二人で組みになって話したり、話を聞いて尋ねたりする。 第3時 3. 前時と二人の組み合わせを変えて、いろいろな話題で話し合う。	【知識・技能】 ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(1)ア) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A1)オ) 【態度】 ・積極的に互いの話に関心をもち、学習の見通しをもって尋ねたり応答したりしようとしている。 【言語活動例】 ・尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動(A2)イ)					

一年						二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	2 (書く1)	かきと かぎ 教科書：P24 △■清音と濁音、半濁音の違いを理解して、正しく文を書く。 ☆学習用語：丸（。）／文	言語	第4時 4. 挿絵と言葉に対応させながら、清音・濁音・半濁音の言葉を声に出して読む。 (1)書き順に気をつけながら新出文字を書く。 (2)濁点の書き方を理解する。 (3)教科書にある清音・濁音・半濁音の言葉を読み、書き方に気をつけて書く。 (4)P25の濁音の混じった言葉遊びの詩をリズムよく音読する。 第5時 5. 主語・述語に気をつけて、文を書き、文の終わりに句点(。)をつける。 (1)P25の「やぎがいる。」をなぞる。 (2)主語と述語を考えて簡単な文を作る。	【知識・技能】 ◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ) ○文の中における主語と述語との関係に気付いている。(1)カ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B1)ウ) 【態度】 ・積極的に濁音・半濁音の表記、句点の打ち方を理解し、学習課題に沿って簡単な文を書こうとしている。 【言語活動例】 ・簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B2)ウ)					

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
5	2 (書く 1)	ことばを あつめよう 教科書：P26 △■言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、言葉を考えて読んだり、書いたりする。 ☆学習用語：言葉	言語	第6・7時 6. 挿絵を見ながら、提示された言葉を読む。 7. 新出の平仮名の書き方を理解し、正しく書く。	【知識・技能】 ○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ) ◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。(1)オ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B1)ウ) 【態度】 ・進んで身近なことを表す語句の量を増やし、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。 【言語活動例】 ・簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B2)ウ)	3 (話す・聞く 3)	大事な ことを おとさずに 聞こう ひろい 公園 教科書：P32 ◇質問を落とさないように聞き、絵から答えを探す。 ★ここが 大事：大事な ことを おとさずに 聞く ☆学習用語：質問／様子／言葉／いつ／どこ／どんな／だれ／何	話聞	第1時 1. 単元名とリード文を読み、学習の見通しをもつ。 (1)公園の絵を見ながら質問を聞くという学習の見通しをもって学習計画を立てる。 2. 質問を聞いて、絵から探す。 (1)教科書に描かれた、広い公園で子どもたちが遊ぶ絵を見ながら、質問を聞く。 (2)質問の内容を確かめ、答えを話し合う。 (3)絵を見て同じような質問を作り、聞き合って答えを考える。 第2時 3. 伝言クイズをする。 (1)絵の中の様子を教師が伝え、伝言クイズをする。 (2)最後の人に伝言が伝わったら、グループで確かめる。 第3時 4. P36「書くと 同じでも、読むと ちがう 言葉」を読み、アクセントの違う言葉を集め、文を作って比べ合う。 5. 学習を振り返る。 (1)学習全体を振り返り、できるようになったことや感想を確かめる。	【知識・技能】 ○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ) ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A1)エ) 【態度】 ・進んで話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、今までの学習を生かして、伝言クイズをしようとしている。 【言語活動例】 ・尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。 (A2)イ)
	3	くまさんと ありさんの ごあいさつ 教科書：P28 □登場人物の様子を考えながら、楽しく音読する。	読む	第1時 1. 短いお話の概要をつかんで、楽しく音読する。 (1)挿絵を参考にしながら、誰が出てくるか、どんな様子かの大体をつかむ。 (2)教師の範読を聞き、お話の概要を知る。 (3)語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読する。 第2時 2. 登場人物の様子を想像しながら、工夫して音読する。 (1)どんな「くまさん」と「ありさん」か、想像したことを発表する。 (2)「くまさん」と「ありさん」の言葉を確認、それぞれどのように読むとよいかを話し合い、声の大きさや読む速さを工夫して音読する。 第3時 3. 音読を発表したり、友達の音読を聞いたりして、音読を楽しむ。 (1)さまざまな形態で音読を楽しむ。 (2)友達の音読に興味をもって聞く。 ※2年生に音読を聞いてもらうなどの工夫をするとよい。	【知識・技能】 ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C1)イ) 【態度】 ・進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を伝えようとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ)					

一年					二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						1	言葉の 文化① 回文を たのしもう 教科書：P37 △回文の意味を知り、楽しみながら回文を読む。 ☆学習用語：回文	文化	1. 学習の見直しをもつ。 2. 教材文を読み、知っている回文を発表する。 3. 教科書の回文の例を声に出して読む。 4. 回文を作る。 5. 学習を振り返る。	【知識・技能】 ◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。(3)イ 【態度】 ・進んで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付こうとし、学習の見直しをもって回文を楽しみながら読んでいる。
						2	漢字の ひろば① 画と 書きじゅん 教科書：P38 △漢字の画と筆順について理解し、正しく書く。 ☆学習用語：画／画数／書き順(筆順)	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見直しをもつ。 2. 「正」の字で数を数える画線法を行った経験を話し合う。 3. 「土」「日」の字は、それぞれ何画で書くのかを考える。 4. 漢字の画や画数の意味を知り、「山」「女」「糸」「右」「目」「馬」の画数と、それぞれの1画めがどこかを話し合う。 5. これまでに学んだ漢字をもとに、画数についての問題を作り、互いに答え合う。 第2時 6. 「書きじゅんのきまり」をもとに、筆順の三つの原則について、考える。 7. 三つの原則とは異なる「とくべつな書きじゅん」があることも、理解する。 8. 点画の長短、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って正しく書く。	【知識・技能】 ◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工 【態度】 ・積極的に漢字の筆順を理解し、学習の見直しをもって、正しい筆順で漢字を書くとしている。

一年						二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	2 (書く1)	ねこと ねっこ 教科書：P32 △■促音の読み方と書き方、句読点の使い方を理解し、正しく書く。	言語	第4時 4. 挿絵を見ながら、促音のついた言葉とつかない言葉を、読んだり書いたりする。 (1)手拍子を打ちながら、音節を意識して音読する。 (2)促音の表記の仕方を知り、ノートやワークシートに書く。 第5時 5. 助詞「は」の使い方、読点(、)や句点(。)の打ち方に気をつけて文を視写する。挿絵を参考に、簡単な敬体の文を考える。	【知識・技能】 ◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ) ◎文の中における主語と述語との関係に気付いている。(1)カ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B1)ウ) 【態度】 ・積極的に促音の表記、読点の使い方を理解し、学習課題に沿って簡単な文を書こうとしている。 【言語活動例】 ・簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B2)ウ)					

一年						二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						2 (書く2)	一年生で 学んだ 漢字① 教科書：P40 △■絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	漢字	第3・4時 9. 絵の中の言葉として示されている漢字の読み方を確認し、一年生の時の一年間のできごとを振り返る。 10. 教科書の絵と言葉を参考に短文を作り、句読点の打ち方に気をつけて書く。 11. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文を書こうとしている。 【言語活動例】 ・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)
	3	ほんを よもう 教科書：P34 △読みたい本を探して読んだり、読んだ本について友達や教師に話したりして、読書に親しむ。	読書	第1時 1. 教科書に紹介されている絵本の表紙や題名を参考に読みたい本を選び、読み聞かせを聞いたり、自分で読んだりする。 第2・3時 2. いろいろな本を読み、おもしろかったところを友達と伝え合う。 ※2年生におすすめの本を紹介してもらおう。	【知識・技能】 ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)工) 【態度】 ・積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって感想を伝え合おうとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C(2)イ)					

一年					二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						13 (書く 5)	二 じゅんじょに 気をつ けて、二つの つながりを かんがえよう すみれと あり 教科書：P42 □■ありとの関わりに気をつ けながら、すみれが仲間を増 やす仕組みについて説明した 文章を読み、すみれとありの つながりを説明する文を書 く。 ★ここが大事：「何がーど うする」に気をつけて読む ☆学習用語：順序／つながり ／題名	読む	第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 単元扉を読み、「じゅんじょに気をつけて、二つのつながりをかんがえる」とは、どんな読み方なのかを考えたり、説明をする方法について確認したりして、学習の見通しをもつ。 (1)すみれやありを、これまでどのような場所で見たとあるかを想起する。 (2)「じゅんじょに気をつけて二つのつながりをよむ」とは、本文に出てくるすみれとありにどのような結びつきがあるのかを考えて読むことだと確認をする。 第2・3時 ＜たしかめよう＞ 2. 本文に書かれた内容の大体を確認する。 (1)題名や、単元扉の写真から、どんなことが書かれた文章なのかを予想し、考えたことをペアで伝え合う。 (2)すみれについて書かれたところと、ありについて書かれたところを見分ける。 第4～7時 ＜くわしくよもう＞ 3. すみれとありに、どのようなつながりがあるのか、書き出して整理をする。 (1)4～6段落までの、すみれが花をつけてから地面に落ちていくまでの流れを→などの記号を使って整理する。 (2)7～9段落までの、ありが地面におちたすみれの種を巣に持ち帰り、捨てるまでの流れを→などの記号を使って整理する。 第8～10時 ＜まとめよう＞ 4. すみれとありのつながりを説明する文を3文で書きまとめる。 (1)10～11段落の文章の中で、書き手が伝えたいことは何かを考えながら大事な語や文を選ぶ。 (2)「すみれは」から始まる文、「ありは」から始まる文、「すみれとありは」から始まる文の3文を考えて書く。 第11～13時 ＜つたえあおう＞ 5. 前時に作成した3文を友達と読み合い、考えを共有する。 (1)ペアを作り、3文の文章を互いに読み合う。 ＜ふりかえろう＞ 6. すみれとありのつながりを説明する文や感想について振り返る。 (1)すみれとありについて考えたことを加筆する。	【知識・技能】 ◎文の中における主語と述語との関係に気付いている。(1)力) ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ◎「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) 【態度】 ・進んで時間的な順序や事柄の順序を考えながら読むことを通して、学習課題に沿って、文章の中の重要な語や文を考えて選び出そうとしている。 【言語活動例】 ・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア) ・事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。(C(2)ア)
	2 (書く1)	ことばを つなごう 教科書：P36 △■意味による語句のまとまりを考えて、つながる言葉を書く。	言語	第4・5時 3. 挿絵を見ながら、矢印の向きに沿って提示された言葉を読み、空欄にどんな文字が入れば言葉がつながるかを考える。 4. 新出の平仮名の書き方を理解し、正しく書く。 (1)新出平仮名の練習をする。 (2)「を」の読み方や使い方を知り、「……を……。」の文を考えて書く。	【知識・技能】 ◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにしている。(1)オ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態度】 ・進んで身近なことを表す語句の量を増し、学習課題に沿って読んだり書いたりしようとしている。 【言語活動例】 ・簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B(2)ウ)					

一年						二年				
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	1	たのしく よもう 1 あいうえおの うた 教科書：P38 △様子を思い浮かべながら、リズムよく音読する。	言語	第1時 1. 言葉のまとまりや意味を考えたり、リズムをつかんだりして、『あいうえおの うた』を楽しく音読する。 2. 一人で読む、斉読する、交代で読むなど、さまざまな形態で音読を楽しむ。 3. 『あいうえおの うた』を視写する。	【知識・技能】 ○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ) ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク) 【態度】 ・進んで語のまとまりや言葉の響きなどに気を付け、学習の見通しをもって音読しようとしている。					
	1	ごじゅうおん 教科書：P40 △五十音表を見て、平仮名の学習を振り返るとともに、五十音表の基本的な特徴に気づく。 ☆学習用語：五十音	言語	第2時 4. 五十音表を見て、平仮名を縦に音読したり、横に音読したりする。 5. 書きにくい平仮名や、まちがえやすい平仮名を取り上げて練習する。	【知識・技能】 ◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ) 【態度】 ・積極的に平仮名を読み、今までの学習を生かして五十音表の特徴に気付こうとしている。					
	5	けむりの きしゃ 教科書：P42 □文章と挿絵を結びつけながら、場面の様子について人物の行動を中心に想像を広げながら読む。	読む	第1時 1. 挿絵を見ながら全文を読み、感想を話し合う。 第2時 2. お話のあらすじをつかみ、各場面の挿絵をもとに、あらすじを説明する。 第3時 3. おじいさんの人柄を考える。 第4時 4. 空へ上っていくながれぼしと、それを見ているおじいさんの、それぞれの言葉を想像する。 第5時 5. 登場人物に手紙を書き、発表し合う。	【知識・技能】 ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク) 【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C1)イ) 【態度】 ・進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって登場人物に手紙を書こうとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いた物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ)					

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	2 (書く 1)	のぼす おん 教科書：P48 △■長音の読み方と書き方を理解して、正しく書く。 ☆学習用語：伸ばす音	言語	第6時 6. 長音の読み方や書き方を理解し、長音の入ったいろいろな言葉を、読んだり書いたりする。 第7時 7. P49の長音の入った詩をリズムよく読んだり、視写したり聴写したりする。	【知識・技能】 ○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ) ◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態度】 ・積極的に長音の表記の仕方を理解し、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。 【言語活動例】 ・簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B(2)ウ)					

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
6	3 (書く3)	せんせい、あのね 教科書：P50 ■経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、先生に話しかけるかたちの簡単な文章を書く。	書く	<p>第1時</p> <p>1. 挿絵をもとに見通しをもち、伝えたいことを文に書くことを知る。 (1)身近なできごとから、伝えたいことを見つけ、簡単な文に書くことを知る。 (2)P51の文例を読み、視写する。 (3)文例を参考に、知らせたいことで、思いついたことを発表する。</p> <p>第2時</p> <p>2. 伝えたいことを書く。 (1)伝えたいことを話し言葉で文に書く。「せんせい、あのね」の書きだして書いてみる。 (2)書き終わったら、声に出して読み返し、直すところがあれば直す。 (3)書き終わった人どうして、交換して読む。</p> <p>第3時</p> <p>3. 「……は、……へ ……た。」の文例を読み、ノートに視写しながら文章に慣れる。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ)</p> <p>◎文の中における主語と述語との関係に気付いている。(1)カ)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>【態度】</p> <p>・進んで主語と述語との関係に気付こうとし、学習の見通しをもって簡単な文章を書こうとしている。</p> <p>【言語活動例】</p> <p>・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)</p>	4 (書く4)	わかりやすく きろくしよう かんさつ発見カード 教科書：P50 ■観察して同じところや違うところを見つけ、考えが明確になるように事柄の順序にそって簡単な構成を考え、「かんさつ発見カード」を書く。 ☆学習用語：観察／発見／観察のポイント／メモ／文章／最初／次に／最後に／横書き／算用数字	書く	<p>第1時</p> <p>1. 植物や生き物の様子をよく見て、「かんさつ発見カード」に書く学習活動について見通す。 2. 生活科の学習で継続して観察している動植物などから書く対象を決める。 3. 観察して気づいたことをメモに書き出す。</p> <p>第2・3時</p> <p>4. P51の吹き出しを参考にし、書く順番を決める。 5. P53「横書きの書き方」を読んで、横書きのきまりを知る。 6. 「かんさつメモ」をもとにして「かんさつ発見カード」を書く。</p> <p>第4時</p> <p>7. 「かんさつ発見カード」を読み返し、間違いや書き落としたことがないか確かめる。 8. 友達と「かんさつ発見カード」を読み合い、互いの発見や書き方のよさに目を向け、感想を伝え合う。 9. どんなことに気をつけて「かんさつ発見カード」を書いたのか、めあてにそって振り返る。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>◎文の中における主語と述語との関係に気付いている。(1)カ)</p> <p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>◎「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ)</p> <p>【態度】</p> <p>・積極的に、発見したことをもとに簡単な構成を考え、学習課題に沿って、「かんさつ発見カード」を書こうとしている。</p> <p>【言語活動例】</p> <p>・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)</p>

一年					二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	4 (話す聞 く4)	みんなに はなそう 教科書：P52 ◇身近なことや経験したこと から話題を決め、必要なこと を思い出して、順序を考えて 話す。	話聞	第1時 1. 挿絵を見て、学習のねらいや方法を知る。身近なことや経験した ことの中から、どんなことを話すか、話題を考える。 第2・3時 2. 話したいことを絵に描き、それをもとに二文程度の文を作り、話 の準備をする。 第4時 3. 発表し、感想やよいところを伝える。 ※2年生に発表を聞いてもらったり、感想を述べてもらったりする。	【知識・技能】 ◎丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を 付けて使うとともに、敬体で書かれた文章 に慣れている。(1)キ) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、身近 なことや経験したことなどから話題を決 め、伝え合うために必要な事柄を選んでい る。(A1)ア) ○「話すこと・聞くこと」において、伝え たい事柄や相手に応じて、声の大きさや速 さなどを工夫している。(A1)ウ) 【態度】 ・積極的に丁寧な言葉と普通の言葉との違 いに気を付け、今までの学習を生かして身 近なことを話そうとしている。 【言語活動例】 ・紹介や説明、報告など伝えたいことを話 したり、それらを聞いて声に出して確かめ たり感想を述べたりする活動。(A2)ア)	1	言葉の文化② むかしの うたを 読もう 教科 書：P54 △平仮名四十七文字を全て 使った歌や数字が 歌詞に組み 込まれた遊び歌があることを 知り、音読する。 ☆学習用語：いろはうた／か な	文化	1. 学習の見通しをもつ。 2. 「いろは歌」が、平仮名四十七文字を一回ずつ使って作られてい ることを確かめ、声に出して五七五のリズムのよさを楽しみながら読 む。 3. 数え歌を知り、遊びながら読んだり歌ったりする。 4. 家の人やお年寄りに遊び歌などを教わって集め、友達と紹介し合 いながら遊ぶ。 5. 学習を振り返る。	【知識・技能】 ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付 けて音読している。(1)ク) ◎長く親しまれている言葉遊びを通して、 言葉の豊かさに気付いている。(3)イ) 【態度】 ・進んで長く親しまれている言葉遊びを通 して、言葉の豊かさに気付こうとし、学習 の見通しをもって音読しようとしている。
	1	たのしく よもう 2 がぎくげごの うた 教科書：P54 △様子を思い浮かべながら、 リズムよく音読する。	言語	1. 言葉の意味を考えながら、『がぎくげごの うた』をリズムよく 楽しく音読する。さまざまな形態で何度も音読する。 2. 『がぎくげごの うた』を視写する。	【知識・技能】 ○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助 詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、 句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理 解して文や文章の中で使っている。また、 平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、 片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の 中で使っている。(1)ウ) ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付 けて音読している。(1)ク) 【態度】 ・進んで語のまとまりや言葉の響きなどに 気を付け、学習の見通しをもって音読しよ うとしている。	3	言葉の ひろば① かたかなで 書く 言葉 教科書：P56 △片仮名で書く言葉の種類を 知り、正しく使い分ける。	言語	第1時 1. 学習内容を理解し、日常化への見通しをもつ。 2. P56を読んで、片仮名で書く言葉の種類を知り、P57の上段の設問 をもとに片仮名で書く言葉を種類ごとに仲間分けをし、片仮名で書く 言葉の種類を理解し、他にもあるか話し合う。 第2・3時 3. P57下段の絵から、片仮名で書く言葉を使った文を作り発表する。 4. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助 詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、 句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理 解して文や文章の中で使っている。また、 平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、 片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の 中で使っている。(1)ウ) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や 文章の中で使うとともに、言葉には意味に よる語句のまとまりがあることに気づき、 語彙を豊かにしている。(1)オ) 【態度】 ・積極的に片仮名で書く語の種類を知ろう とし、今までの学習を生かして文を書こう としている。

一年					二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	4 (書く4)	よくみて かこう 教科書：P56 ■身近なものを観察し、気づいたことを簡単な絵や文で表し、書いたものを読み合って感想を伝え合う。 ☆学習用語：絵日記	書く	第1時 1. 身近で育てている植物などをよく見て、絵と文に書くことを知る。 (1)実際に観察し、特徴や小さな変化に気づく。 (2)全体の様子や気づいたこと、触った感じや自分の思いなどをカードに書く。 第2・3時 2. 絵に色を塗ったり、文を読み返してまちがいを直したりして、観察カードを完成させる。 第4時 3. お互いに書いたものを読み合う。 ※2年生の「かんさつ発見カード」を見たり、1年生の観察カードを2年生に見てもらったりしてもよい。	【知識・技能】 ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(1)ア ◎丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。(1)キ 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・進んで経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、学習の見通しをもって記録する文章を書こうとしている。 【言語活動例】 ・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)	2	読書の ひろば① 本で しらべよう 教科書：P58 △□図書館で本を探す方法を知り、本を探して読む。 ☆学習用語：目次／司書	読書	第1時 1. 図書館で本を探す方法を知り、本を探して読むという学習内容を捉え、学習の見通しをもつ。 2. 図書館に行き、本を探す方法を知る。 第2時 3. 自分が調べたり、読んだりしたいテーマの本を探して、読み、わかったことなどを項目ごとにメモする。 4. 学習を振り返る。	【知識・技能】 ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ 【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) 【態度】 ・積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本の探し方を知らうとしている。 【言語活動例】 ・学校図書館などを利用し、図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動。(C(2)ウ)
	7 (書く7)					7 (書く7)	三本でしらべてしょうかいしよう 「生きものクイズ」でしらべよう 教科書：P62 ■経験したことや本で調べたことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする。 ★ここが大事：しりたいことを しらべ、クイズを 作る ☆学習用語：クイズ／内容／目次／問題／答え／説明	書く	第1時 <見通しをもとう> 1. 身の回りの生き物について調べ、「生きものクイズ」を作って友達に知らせるとい学習活動について見通す。 第2・3時 <きめよう・あつめよう>(重点) 2. クイズにしたい生き物を決め、詳しく調べる。 3. クイズにしたい内容をメモに書く。 第4・5時 <くみ立てよう・書こう> 4. 「生きものクイズカード」を書く。 <読みかえそう> 5. 作ったクイズを読み返す。 第6・7時 <つたえあおう> 6. 「生きものクイズカード」を使って、クイズを出し合う。 <ふりかえろう> 7. どんな工夫をしてクイズの内容を集めたり、クイズを作ったりしたか、めあてにそって振り返る。 ※1年生にクイズを出すという目的をもって、図書館で本を探したりクイズを作ったりする。	【知識・技能】 ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・積極的にクイズにしたい生き物について調べたり必要な事柄を集めたりして、学習課題に沿って、「生きものクイズカード」を書こうとしている。 【言語活動例】 ・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)

一年						二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	6	すすめの 暮らし 教科書：P58 □問いの文や写真に導かれ、 すすめについて説明した文章 を読む。	読む	第1時 1. 題名や写真から、すすめについての興味を高めるとともに、学習への意欲をもつ。 2. すすめについて知っていることを話し合う。 (1)題名の中の言葉「すすめ」「すすめの暮らし」をもとに話し合う。 (2)教科書の写真を手がかりにしなが、自分がすすめについて知っていることを話し合う。 第2～4時 3. 文章のまとまりごとに、写真や問いの文を手がかりにしなが、『すすめの 暮らし』を読む。 (1)写真からわかることを話し合う。 (2)写真からわかったことを手がかりに、問いの文「なにをしているのでしょうか。」の答えを予想する。 (3)答えの文を読み、写真とも結びつけて、文章の中の大事な言葉に着目して、内容を確認する。 第5時 4. 文章を読み返して、わかったことを確認したり、はっきりした発音で音読したりする。 第6時 5. 鳥もしくは動物について書いた絵本や図鑑を読み、初めて知ったことや不思議に思ったことを紹介し合う。 ※2年生の「生き物クイズ」をイメージしながら、問いと答えの文章を読んだり、生き物についての本を読んだりする。	【知識・技能】 ◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ) ○文の中における主語と述語との関係に気付いている。(1)カ) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C1)ア) ○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C1)ウ) 【態度】 ・積極的に時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことや思ったことを紹介しようとしている。 【言語活動例】 ・事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。(C2)ア)					

一年					二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						2	漢字の ひろば② なかまの 言葉と 漢字 教科書：P66 △意味をもとに仲間に分けた漢字について理解する。	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 2. 「朝・昼・夜」がどんなまとまりの言葉かを話し合う。 3. 「家族を表す言葉」について考える。 第2時 4. 意味をもとに漢字を仲間に分けることについて理解し、それぞれの漢字を関連づけて覚える。 5. 意味のつながりのある言葉や漢字を身のまわりから探して、ノートに書き、発表し合う。 6. 反対の意味の漢字を確かめ、あてはめる。 7. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工 ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(1)才 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって、漢字の意味のつながりを知ろうとしている。

一年					二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	2 (書く 1)	しゃ、しゅ、しよ 教科書：P64 △■拗音や拗長音の読み方と書き方を理解して、正しく書く。	言語	第7時 6. 清音と拗音との違いに気をつけて、拗音や拗長音の言葉を正しく音読する。 (1)教師の範読を聞いたあと、音読する。 (2)「しゃしん」「あくしゅ」「しよっき」をノートに視写する。	【知識・技能】 ○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ) ◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B1)ウ) 【態度】 ・積極的に拗音の表記の仕方を理解し、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。 【言語活動例】 ・簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B2)ウ)	2	言葉の ひろば② 「言葉のなかまさがしゲーム」をしよう 教科書：P68 △言葉が体系性をもって存在していることに気づき、上位語・下位語の概念に基づいて、言葉を探したりまとめるりする。	言語	第1時 1. 言葉が仲間ごとにまとめられるということを知り、学習活動に対する見通しをもつ。 2. 「言葉のなかまさがしゲーム」を行うための準備をする。	【知識・技能】 ◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。(1)オ) ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【態度】 ・積極的に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって言葉を分類しようとしている。

一年						二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
				第8時 7. 拗音や拗長音を含む言葉を視写したり、言葉を集めたりする。 (例)きょうしつ おちゃ ひょうし など (1)「びょういん」と「びょういん」の違いに気づき、正しく視写する。 (2)P65の詩を音読し、ノートに視写する。 (3)拗音の入った言葉を集め、ノートに書く。					第2時 3. P70の上段を読み、前時に集めた言葉を用いて「言葉のなかまさがしゲーム」の問題づくりを行う。 4. 別のグループの友達と一緒に「言葉のなかまさがしゲーム」を行う。 5. 学習したことを振り返る。	
	1	たのしく よちう3 きやきゆきよの うた 教科書：P66 △様子を思い浮かべながら、リズムよく音読する。	言語	1. 言葉の意味を考えながら、『きやきゆきよの うた』をリズムよく楽しく音読する。さまざまな形態で何度も音読する。 2. 『きやきゆきよの うた』を視写する。	【知識・技能】 ○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク 【態度】 ・進んで語のまとまりや言葉の響きなどに気を付け、学習の見通しをもって音読しようとしている。					

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
7	9 (書く 9)	しらせたい ことを かこう 教科書：P68 ■身近なできごとから知らせたいことを選び、簡単な文章を書く。	書く	<p>第1時</p> <p>1. 挿絵をもとに単元の見通しをもち、伝えたいことを文に書くことを知る。 (1)身近なできごとから、伝えたいことを見つけ、簡単な文に書くことを知る。 (2)P68・69を読んで、「誰に」「何を」伝えたいか考える。 (3)思いついたことを発表する。</p> <p>第2時</p> <p>2. 伝えたいことを決める。 (1)前時で話し合ったことを参考に、何を書くか、誰に伝えるかを考える。 (2)隣どうして、何を誰に伝えたいか話す。 (3)全体にも紹介する。</p> <p>第3時</p> <p>3. 敬体で文を書くことを知る。 (1)P70の文例を読み、「……は、……ました。」のような敬体で書くことを知る。 (2)いろいろな言い方を敬体に直す練習をする。</p> <p>第4～6時</p> <p>4. 伝えたい相手を決めて文章を書く。 (1)伝えたい相手を考えながら二文程度の文を書く。 (2)題名を決める。</p> <p>第7・8時</p> <p>5. 読み返し、交流する。 (1)書いた文を自分で読み返し、まちがいを直す。句読点や文字のまちがいに注意する。 (2)書き終わった人どうして読み合って、よかったところを伝える。</p> <p>第9時</p> <p>6. 読んだ作品のよいところを伝え合い、自分の作品のよさに気づく。</p> <p>※2年生に書いたものを読んでもらい、感想を伝えてもらうなどの工夫をすることも考えられる。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>○「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。(B(1)オ)</p> <p>【態度】</p> <p>・積極的に長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解し、学習の見通しをもって簡単な文章を書くこととしている。</p> <p>【言語活動例】</p> <p>・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)</p>	15 (書く 5)	<p>四 くりかえしに 気をつけて、とうじょう人物の様子を読む</p> <p>きつねの おきやくさま</p> <p>教科書：P72</p> <p>□■場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想を書く。</p> <p>★ここが大事：くりかえしのある お話を 読む</p> <p>☆学習用語：場面／登場人物／繰り返し／順序／わけ</p>	読む	<p>第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 単元扉を読み、単元の見通しをもち。</p> <p>第2・3時 ＜たしかめよう＞ 2. P84「たしかめよう」の①②③の順序で、お話が繰り返されていることを確かめる。</p> <p>第4～8時 ＜くわしくよもう＞ 3. 以下のそれぞれの場面のきつねの思いを想像し、場面の様子や登場人物の行動を具体的に読み取る。 (1)ひよこ、あひる、うさぎに「○○お兄ちゃん。」と言われた時。 (2)「いや、まだいるぞ。きつねがいるぞ。」と言って、飛び出した時。 (3)恥ずかしそうに笑って死んだ時。</p> <p>第9～11時 ＜まとめよう＞ 4. きつねの性格について本文をもとに考える。</p> <p>第12～14時 ＜つたえあおう＞ 5. <まとめよう>で考えたきつねの性格をノートにまとめ、友達と紹介し合う。</p> <p>第15時 ＜ふりかえろう＞ 6. この単元で学んだことを振り返る。 (1)繰り返しの気をつけて読んで気づいたことを振り返る。 (2)この学習を生かして、好きなお話や読んだことがあるお話の登場人物の性格や、繰り返しの表現について改めて考える。</p> <p>※1年生におすすめの場面を紹介し、読み聞かせをする。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)</p> <p>○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)</p> <p>○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>【態度】</p> <p>・進んでお話の中の言葉や表現がもつよさを感じるとともに、学習課題に沿って自分の思いや考えを伝え合おうとしている。</p> <p>【言語活動例】</p> <p>・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C(2)イ)</p>

一年						二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	2 (書く 1)	は、を、へ 教科書：P72 △■助詞の表記と語中の表記とを区別して理解して、正しく書く。 ☆学習用語：文	言語	第10・11時 7. P72・73の提示文を読んで、助詞の「は」「を」「へ」の読み方と書き方を確かにする。 (1)「は」「を」「へ」の例示された文を音読し、ノートに視写する。 (2)P72のありさんの詩を音読し、「は」「を」「へ」の読み方を確かにする。 8. 助詞の「は」「を」「へ」を使って文を作る。 (1)全体で話し合っって例をあげ、書き方を確認する。 (2)各自、ノートに文を書く。 ※2年生に作品を紹介し、感想を述べてもらう。	【知識・技能】 ◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ) ○文の中における主語と述語との関係に気付いている。(1)カ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B1)ウ) 【態度】 ・積極的に助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解し、学習の見通しをもって簡単な文を書こうとしている。 【言語活動例】 ・簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B2)ウ)					
	2	としょかんへ いこう 教科書：P74 △図書館の基本的な利用方法を知り、興味のある本を探したり、紹介し合ったりする。	読書	第1時 1. 図書館のはたらきや利用の仕方について知る。 (1)図書館の利用経験を発表する。 (2)実際に学校図書館へ行って本を読んだり、借りたりする。 第2時 2. 読んだ本の中から気に入った本を一冊選び、紹介し合う。 ※2学年の単元「言葉の文化③いなばのしろうさぎ」と同時期に実施することも考えられる。 ※2年生に選んだ本を紹介する。	【知識・技能】 ○昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。(3)ア) ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ) 【態度】 ・積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本を紹介しようとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ)					

一年					二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	2	おはなしの くに 教科書：P75 △□挿絵を見ながら昔話などに興味をもち、読書をする。 ☆学習用語：お話	読書	第1時 1. 挿絵からお話の世界にいざなう。 (1)P75～78を開き、なんの絵が描かれているのか話し合い、お話の世界であることを知る。 (2)挿絵を見ながら知っているお話について話し合い、読書への興味を高める。 第2時 2. 好きなお話を選んで読む。 (1)学校図書館に行って絵本を選び、読書する。 (2)多くの絵本を読み、その中からお気に入りの一冊を選ぶ。 3. お話の読み聞かせを聞く。 ※2学年の単元「言葉の文化③いなばのしろさぎ」と同時期に実施することも考えられる。 ※2年生と一緒に図書館に行き読み聞かせをしてもらったり、本を選んだりする。	【知識・技能】 ○昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。(3)ア) ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ) 【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C1)イ) 【態度】 ・積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本を読もうとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ)					
	6	おおきな かぶ 教科書：P82 □繰り返しの展開を楽しみながら、場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げて読む。 ☆学習用語：訳	読む	第1時 1. 物語を概観し、学習の見通しをもつ。 (1)題名や挿絵から物語の内容を想像し、興味をもつ。 (2)教師の範読を聞きながら、本文を読む。 (3)何が印象に残ったか、簡単な感想をもつ。 第2～5時 2. それぞれの場面を読んで、人物の行動を中心に想像を広げ、お話の展開を楽しむ。 第6時 3. 最後の場面をもとに、物語全体について感想をもつ。	【知識・技能】 ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク) 【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C1)イ) ○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C1)エ) 【態度】 ・進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を伝えようとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ)	5	言葉の文化③ いなばの しろさぎ 教科書：P88 △□古くから伝わっている話を、興味をもって聞き、場面の様子を想像する。	文化	第1時 1. 学習の見通しをもつ。 2. 絵を見て、どんなお話なのか、ストーリーを予想する。 第2・3時 3. 絵を見ながら、教師の音読を聞いて、場面の絵をもとにお話確かめる。 第4・5時 4. 昔話や神話・伝承の書かれた本を探して読む。 5. 学習を振り返る。 ※1学年の単元「としょかんへいこう」「おはなしのくに」と同時期に実施することも考えられる。 ※1年生と一緒に図書館に行き読み聞かせをもらったり、本を選んだりする。	【知識・技能】 ○昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。(3)ア) 【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C1)エ) 【態度】 ・進んで昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、今までの学習を生かして昔話や神話・伝承の書かれた本を探して読もうとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ)

一年						二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						4 (話す聞く2)	言葉のひろば③ うれしくなる言葉 教科書：P90 △◇言葉が表す意味と、その言葉にこめられる気持ちについて考え、話し合う。	言語	第1・2時 1. 学校生活を振り返り、うれしかった言葉を想起して「うれしくなる言葉」について学ぶことへの見通しをもつ。 2. 心に残っている「うれしかった言葉」を思い出して、①どんな時に言われたか、②誰から言われたか、③どんな言葉をかけられたか、④どう思ったかを思い出して、カードに書く。 3. カードに書いたものをグループで見せ合い、会話をしながらお互いの気持ちを伝え合う。 4. グループでの発表をもとに、次はクラス全体に代表者が発表する。 5. 家族に言われてうれしかった言葉を思い出して、話し合いながらいろいろなエピソードを見つけ、言葉と経験を結びつける。 第3時 6. 挿絵の友達の作品を見て、友達にかけるとよい言葉を考える。 7. 言葉を考えながら友達にかけられる言葉はどのようなものがうれしいのか、相手の立場に立ったものを考えられるとよいことに気づく。 第4時 8. 友達の素敵なお話を思い出して、みんなでうれしくなる言葉を伝え合う。 9. 言葉によって相手や自分がどのような影響を受けるのかを考え、学習をまとめる。	【知識・技能】 ◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(1)ア) ◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(1)オ) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A1)ア) 【態度】 ・積極的に言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって「うれしくなる言葉」を伝え合おうとしている。 【言語活動例】 ・尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。(A2)イ)

一年						二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	4 (書く 4)	えにつきを かこう 教科書：P92 ■身のまわりのできごとや経験したことを、絵と文で表現する。	書く	<p>第1時</p> <p>1. 学習のねらいと流れをつかみ、見直しをもつ。 (1)挿絵を参考にしながら書くことを考え、隣どうして話し合う。 ・日曜日にしたこと ・楽しかったこと ・がんばったこと など (2)話したことをもとに、文章にすることを全体で確かめる。</p> <p>第2・3時</p> <p>2. 自分の書きたいことを選び、絵日記に書く。 (1)したことのほかに、思ったことも入れるとよいことを知る。 (2)前時で話し合ったことを思い出し、題材を決めて絵と文章を書く。</p> <p>第4時</p> <p>3. 書いた絵日記を読み合い、感想を伝え合う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ)</p> <p>【態度】</p> <p>・積極的に経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、今までの学習を生かして絵日記を書こうとしている。</p> <p>【言語活動例】</p> <p>・日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動。(B(2)イ)</p>					

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						1	読書の ひろば② ひろがる 読書の せかい 教科書：P94 △□「オリジナル図書カード」や「読書ゆうびん」を作成する活動を通して、いろいろな本があることを知る。	読書	1. 「オリジナル図書カード」や「読書ゆうびん」を作るという学習内容を捉え、学習の見直しをもつ。 2. 学校の図書室や地域の図書館などで、興味のある本を借りて、「オリジナル図書カード」や「読書ゆうびん」を作る。 ※夏休みの宿題との関連などが考えられる。 3. 学習を振り返る。	【知識・技能】 ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)工) 【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C1)力) 【態度】 ・進んで読書に親しみ、学習課題に沿って、学校の図書館などを利用していろいろな本があることを知ろうとしている。 【言語活動例】 ・学校図書館などを利用し、図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動。(C2)ウ)
9	5 (話す聞く5)	なつのおもいでを はなそう 教科書：P94 ◇相手の話の内容を受けて話したり、自分からすすんで話したりする。	話聞	第1時 1. P94・95の挿絵をもとに、学習の見直しをもつ。 (1)主な学習のねらいを知る。 ・夏休みのできごとを話題にすること ・実物を持ってきたり、絵や写真を持ったりして話すこと ・グループで話し合い、聞く人も質問や感想を言うこと (2)挿絵はどんなことを表しているのか話し合う。 (3)自分たちの夏休みのできごとを発表し合う。 第2・3時 2. 発表の準備をする。 (1)P95の挿絵をもとに、どんな発表をするのか話し合う。 (2)発表原稿を書く。 (3)発表に必要なものを用意する。 ・思い出の品 ・写真、絵 など (4)発表の練習をする。 第4・5時 3. 「夏の思い出発表会」をする。 (1)話すとき、聞くときのきまりを確認する。 (2)グループ全員が話したら、他のグループと入れ替わって、話をする。 (3)質問や感想を言う。 ※2年生に発表を聞いてもらい質問や感想を述べてもらう。	【知識・技能】 ○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A1)ア) ◎「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A1)工) 【態度】 ・積極的に話し手が知らせたいことを落とさないように聞き、学習の見直しをもって質問や感想を言おうとしている。 【言語活動例】 ・紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。(A2)ア)	5 (話す聞く5)	じゅんじょを考えて話そう 話したいな、聞きたいな、夏休みのこと 教科書：P96 ◇夏休みの出来事を、順序を考えて話したり、友達の話を聞いて感想を述べ合ったりする。 ☆学習用語：始め／中／終わり	話聞	第1時 1. 単元名とリード文を読み、学習の見直しをもつ。 (1)夏休みの出来事を順序を考えて話すという学習の見直しをもって、学習計画を立てる。 2. 紹介する夏休みの出来事を決める。 (1)夏休み明け、久しぶりに会った友達と夏休みの出来事について二人で組みになり交流する。 第2時 3. 紹介する夏休みの出来事の話す構成を考える。 (1)話す順番を考えてメモを書く。 (2)組み立てメモを作る。 第3時 4. ペアを作り、話す練習をする。 (1)話す練習をする。 第4時 5. クラスのみんなに話す。 (1)クラスのみんなに夏休みの出来事を話す。 第5時 6. 学習を振り返る。 (1)学習全体を振り返り、できるようになったことや感想を確かめる。 ※1年生に発表を聞いてもらい質問や感想を述べてもらう。	【知識・技能】 ◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A1)イ) 【態度】 ・進んで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして夏休みのできごとを紹介しようとしている。 【言語活動例】 ・紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。(A2)ア)

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	2 (書く 1)	かたかなの ことば 教科書：P96 △■身のまわりの片仮名で書く言葉や表記を理解し、正しく書く。 ☆学習用語：片仮名／言葉	言語	第6時 4. 片仮名で書く言葉を見つけ、簡単な片仮名を読んだり書いたりする。 (1)P96の挿絵から片仮名で書く言葉を見つけて発表する。 (2)P96下段の例示を読み、書き順や形に気をつけてなぞったり、ノートに練習したりする。 第7時 5. 片仮名の文字や言葉を読んだり、書いたりして、練習する。 (1)P97に示された語句を、声に出して読んだりなぞったりする。 (2)ノートに、書き順や形に気をつけて練習する。	【知識・技能】 ◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(1)オ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・積極的に片仮名で書く語の種類を知り、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。 【言語活動例】 ・簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B(2)ウ)	2	しを読もう てんとうむし 教科書：P98 □言葉のリズムや響きを楽しみながら、イメージの自由な広がりをとおして詩を楽しむ。	読む	第1・2時 1. 学習の見通しをもつ。 2. 『てんとうむし』を音読し、気がついたことを発表し合う。 3. 一人読み、ペア読み(一行ずつ交代して読む)、一斉読みなどをして、音読を繰り返す。	【知識・技能】 ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) 【態度】 ・進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって感想を発表しようとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C(2)イ)

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	8	たのしく こえに だして よもう けんかした 山 教科書：P98 □場面の様子を想像しながら、お話を読む楽しさを味わう。 ☆学習用語：文／漢字	読む	<p>第1時</p> <p>1. 題名や挿絵をもとに、学習のねらいをつかみ、学習の見通しをもつ。 (1)山の様子や言葉から、場面を想像して、お話を楽しむ。 (2)挿絵を見ながら教師の範読を聞き、あらすじをつかんだり、簡単な感想をもったりする。</p> <p>第2～5時</p> <p>2. 山のしたことをもとに場面の様子を想像する。</p> <p>第6時</p> <p>3. 物語でいちばんよいと思ったところ(心に残ったところ)を見つけ、なぜそこがよいと思ったのか考えて、発表したりノートに書いたりする。</p> <p>第7時</p> <p>4. 音読発表会の準備をする。 (1)どんな会にするか、誰を招待するか話し合う。 (2)登場人物を確認し、グループで役割を決めて音読の練習をする。</p> <p>第8時</p> <p>5. 音読発表会をする。 (1)発表会のときに気をつけることを確認する。 ・発表者として ・聞き手として ・招待したかたがたに対して (2)発表会をする。</p> <p>※2年生に発表し、感想を述べてもらう。また、人数によっては、音読の役割の中に教師も入る。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工)</p> <p>◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C1)イ)</p> <p>◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C1)工)</p> <p>【態度】</p> <p>・進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像しようとしている。</p> <p>【言語活動例】</p> <p>・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ)</p>	12 (書く 4)	五 登場人物が考えていたことをそうぞうしよう わにのおじいさんのたからもの 教科書：P104 □■文章を読み、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、想像したことを書く。 ★ここが大事：登場人物の考えをそうぞうする ☆学習用語：登場人物、場面、想像する	読む	<p>第1時</p> <p><見通しをもとう> 1. 単元の見通しをもつ。</p> <p>第2～5時</p> <p><たしかめよう> 2. お話の内容の大体をつかむ。 (1)お話の登場人物を確かめる。 (2)お話のできごとを確かめる。</p> <p>第6～8時</p> <p><くわしくよもう> 3. 場面の様子に着目し、登場人物の行動を想像する。 (1)わにのおじいさんがどうしておにの子のたからもの場所を教えたのかを考える。 (2)おにの子とわにのおじいさんそれぞれにとってのたからものは何かを考える。</p> <p>第9・10時</p> <p><まとめよう> 4. おにの子がどのような人物かを考える。</p> <p>第11・12時</p> <p><つたえあおう> 5. この単元で学んだ内容や感想を伝え合う。 (1)お話の興味を持った部分や、登場人物に共感した部分に線を引き発表する。 (2)発表し、共有したことをもとに、おにの子か、わにのおじいさんに手紙を書く。</p> <p>第13時</p> <p><ふりかえろう> 6. この単元で学んだことを振り返る。 (1)登場人物の行動や言葉に着目して気がついたことを振り返る。 (2)登場人物に手紙を書くときに気がつけたことを振り返る。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(1)ア)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C1)工)</p> <p>○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C1)オ)</p> <p>○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B1)ア)</p> <p>【態度】</p> <p>・学習課題に沿って、進んで登場人物が考えていたことを、本文の言葉を根拠に想像しようとしている。</p> <p>【言語活動例】</p> <p>・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ)</p>

一年						二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	3 (書く 2)	かん字の はじまり 教科書：P105 △■漢字には、絵からできたものとするしからできたものがあることを理解して、正しく書く。 ☆学習用語：漢字	言語	第9～11時 6. 漢字の成り立ちに関心をもち、「山」「月」「木」の漢字を、正しく読んだり書いたりする。 7. 「上」「下」の漢字を、正しく読んだり書いたりする。 8. P107の上段に示された漢字が、どの絵と対応するか確かめ、漢字の由来を理解する。	【知識・技能】 ◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態度】 ・進んで当該学年で配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。 【言語活動例】 ・簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B(2)ウ)					
	7	よんで たしかめよう だれが、たべたのでしょうか 教科書：P108 □問いの文と答えの文や写真と文の対応に気をつけながら、動物の食べ跡について説明した文章を読む。 ☆学習用語：だれが／なにを／どんな	読む	第1時 1. 題名を読んで、「誰が」「何を」食べたのかを考えるなどして、学習の見通しと意欲をもつ。 2. 題名と9枚の写真を手がかりに、この文章が説明していることの大体をつかむ。 第2～4時 3. 問いと答えの文や写真との対応に気をつけながら、食べ跡と食べた動物やその食べ方を読む。 第5時 4. 写真の食べ跡の特徴を話し合ったり、食べ方を想像したりして、動物の暮らしについて話し合う。 第6・7時 5. 動物について知っていることや絵本・図鑑などで調べたことを、問いと答えからなる簡単な文章で書き、紹介し合う。 ※問いと答えからなる簡単な文章を2年生に読んでもらうなどの工夫も考えられる。	【知識・技能】 ◎文の中における主語と述語との関係に気付いている。(1)カ) 【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ◎「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) 【態度】 ・積極的に時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことや思ったことを話そうとしている。 【言語活動例】 ・事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。(C(2)ア)	2	漢字のひろば③ 二つの漢字でできている言葉 教科書：P100 △二つの漢字でできた言葉の構成を確認し、二つの漢字のつながり方を考える。	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 2. 「小石」の意味を考える。 3. 「大木」「新年」「白線」という言葉の意味を考える。 4. 「子牛」の例をもとに「親鳥」「海水」「人名」という言葉の読み方と意味を考え、二つの漢字のつながり方を話し合う。 第2時 5. 「青空・夜空・夏空」、「朝市・朝日・朝会」などの言葉の意味について話し合う。 6. 二つの漢字をつないで言葉を作り発表し合う。 7. 「同じ点数」は、「同点」という二つの漢字でできた言葉になることを理解する。 8. 二つの漢字を組み合わせ、いろいろな言葉を作り、発表し合う。	【知識・技能】 ◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって、二つの漢字でできている言葉を読んだり書いたりしようとしている。

一年					二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						2 (書く 2)	一年生で学んだ漢字② 教科書：P102 △■絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	漢字	第3・4時 9. 絵の中の言葉の読み方を確認する。 10. 教科書の絵と言葉を参考に、広場の様子から想像できる短文を作る。 11. 主語と述語のつながりに気をつけて、絵の中の言葉を使って2文以上が続くように書き、発表し合う。 12. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1工) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態度】 ・積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文や文章を書くようとしている。 【言語活動例】 ・簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B(2)ウ)
						2	言葉のひろば④ はんたいのいみの言葉、にたいの言葉 教科書：P118 △対義語や類義語があることを知り、身近な言葉から対義語や類義語を集める。	言語	第1時 1. 言葉には、反対の意味をもつものや、似た意味をもつものがあることを知り、学習活動に対する見通しをもつ。 2. 「はんたいのいみの言葉」にはどのようなものがあるかを考え、組みになるカードを作る。 3. 作ったカードを友達どうしで確かめ合う。 第2時 4. 「にたいの言葉」にはどのようなものがあるのかについて考える。 5. 「にたいの言葉」を分類したり、整理したりして、気づいたことを話し合う。 6. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(1オ) ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2ア) 【態度】 ・積極的に反対の意味をもつものや、似た意味をもつものがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって言葉を使おうとしている。

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
10	12 (書く 12)	たのしかった ことを かこ う 教科書：P116 ■日常生活の中から書くこと を見つけ、簡単な文章を書 く。 ☆学習用語：思い出す／漢字 ／したこと／伝える／「」 ／言葉	書く	第1時 1. 学習の見直しをもつ。 (1)P116・117の挿絵や本文から、心に残ったできごとを思い出し、文 章を書くことを知る。 (2)学校や家でのできごとで、楽しかったことやがんばったことなどを 発表する。 (3)P117の「ここが だいじ」を読んで、文を書くのに、どんなことを 思い出したらよいか気づく。 第2時 2. 文の書き方を知る。 (1)P117の「ここが だいじ」を確かめる。 (2)文を書いたら、友達と読み合うことを知る。 第3時 (3)P118・119の例を読み、どんな文を書くのかイメージをもつ。 (4)「」の使い方や題名、名前の書き方などを確認する。 (5)「ここが だいじ」が例示の文章にどう生かされているか、確認す る。 第4時 3. 文章を書く。(話題設定・構成) (1)文章に書く内容を決める。 (2)書く題材が決まったら、書きたいことを思い出してメモやカードな どに書く。 第5～10時 4. 文章を書く。(記述・推敲) (1)メモやカードを並べて、書く順番を決める。 (2)原稿用紙の書き方を知る。 (3)メモをもとに文章を書く。 (4)書いたら読み返す。まちがいがあれば直す。 第11・12時 5. 書いた文章を交流する。 (1)書いた文章を発表する。 (2)友達のよいところを見つけて伝え合う。 ※2年生に発表し、よいところや感想を述べてもらう。	【知識・技能】 ◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助 詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、 句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理 解して文や文章の中で使っている。また、 平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、 片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の 中で使っている。(1)ウ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、経験したことや 想像したことなどから書くことを見付け、 必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝 えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ◎「書くこと」において、自分の思いや考 えが明確になるように、事柄の順序に沿っ て簡単な構成を考えている。(B(1)イ) ○「書くこと」において、語と語や文と文 との続き方に注意しながら、内容のまと まりが分かるように書き表し方を工夫してい る。(B(1)ウ) 【態度】 ・進んで経験したことから書くことを見付 け、学習の見直しをもって文章を書くこと としている。 【言語活動例】 ・身近なことや経験したことを報告した り、観察したことを記録したりするなど、 見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)	11 (書く 11)	六 まとまりのある文章を書こ う 町の「すてき」をつたえます 教科書P120 ■生活科の町たんけんで見つ けたことや分かっ たことをも とに、自分の思いや考えが明 確になる ように事柄の順序に そって簡単な構成を考え、町 のすてきを伝える文章を書 く。 ★ここが大事：まとまりのあ る文章しょうを書く ☆学習用語：／メモ／理由／ はじめめ／中／お わり／組み 立てひょう／じゅんじょ	書く	第1時 ＜見直しをもとう＞ 1. 生活科の町たんけんで見つけたことや分かったことをもとに、町の 「すてき」を書き、友達や家の人に伝える学習活動について見通す。 第2・3時 ＜きめよう・あつめよう＞ 2. 探検したときに書いた「町たんけんカード」から、町の「すてき」 を伝えるために必要なことをメモに書き抜く。 3. メモをペアで読み合い、内容を確認し合う。 第4・5時 ＜組みたてよう＞(重点) 4. 「はじめ・中・おわり」に何を書くか考えて、組み立て表を作る。 第6・7時 ＜書こう＞ 5. 組み立て表をもとに、文章を書く。 第8・9時 ＜読みかえそう＞ 6. 書き終えたら、まちがいがなければ読み返す。 第10時 ＜つたえ合おう＞ 7. 書いた文章を読み合い、よいところを伝え合う。 第11時 ＜ふりかえろう＞ 8. まとまりのある文章を書くためにどんな工夫をしたか、めあてに そって振り返る。 ※書いたものを1年生が読みやすいように、点や丸、小さく書く字に気 をつけて推敲する。	【知識・技能】 ◎文の中における主語と述語との関係に気 付いている。(1)カ) ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報 との関係について理解している。(2)ア) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、自分の思いや考 えが明確になるように、事柄の順序に沿っ て簡単な構成を考えている。(B(1)イ) 【態度】 ・他教科での学習や経験を関連させなが ら、事柄の順序に沿って構成を考え、報告 する文章を書いている。 【言語活動例】 ・身近なことや経験したことを報告した り、観察したことを記録したりするなど、 見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)

一年						二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						1 (話す聞く1)	国語の学習 つながる ひろがる 教科書：P126 ◇■半年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、楽しみながら学習できるようにする。	話聞	1. 半年間の国語の学習で学んできたことや言葉を思い出して書いて、出し合ったりする。 2. 1で出し合ったことが、ほかの教科や生活の中で、どんなことに生かしていけるか考える。	【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ) ○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・進んで経験したことから書くことを見付け、今までの学習を生かして思い出したことや下巻の教科書でどんな学習をしたいかを共有しようとしている。 【言語活動例】 ・尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。(A(2)イ)
5	かぞえよう 教科書：P120 △数え歌をもとにして、漢字を使った数の読み方に慣れるようにするとともに、一から十までの漢数字を正しく読み、書く。	言語	第1時 1. 学習の見通しをもつ。 2. 言葉の意味を考えながら、リズムよく音読する。 第2時 3. 絵と言葉をもとに、数え方を確認する。 第3時 4. 数を表す漢字を声に出して読んだり書いたりすることを知る。新出漢数字を書き順に気をつけて正しく書く。 第4時 5. P122・123を見て、一から十までの漢数字を声に出して読む。挿絵を見ながら、助数詞をつけて漢数字を声に出して読む。 第5時 6. 漢数字を使って短い文をつくり、ノートに書いて発表し合う。	【知識・技能】 ◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(1)オ 【態度】 ・進んで漢字を読み、学習の見通しをもって文や文章の中で使おうとしている。	2	二まいのしゃんしのちがいをくらべよう この間に何があった？ 教科書：P20 □1枚めの写真から視点を定めて、2枚めの写真になった際、何かが起きたことを想像する。 ☆学習用語：比べる	読む	第1時 1. P20～21の二枚の写真のちがいを比べ、間に何が起こったかを考える学習の見通しをもつ。 2. 二枚の写真を比べ、毛を刈られるところと、刈り終わったところであることを確かめる。 3. 間に何が起こったかを自分なりに想像し、考えをノートに書く。 4. ノートに書いたことを友達と伝え合う。 5. 伝え合って考えたことをさらにノートに加筆する。 6. 二枚の写真のちがいを比べることを通じて、想像を広げることができたかを振り返る。 第2時 7. P24・25の二枚の写真、P26・27のちがいを比べ、間に何が起こったかを考える学習の見通しをもつ。 8. 二枚の写真を比べ、どのようなちがいがいるのかを確かめる。 9. 間に何が起こったかを自分なりに想像し、考えをノートに書く。 10. ノートに書いたことを友達と伝え合う。 11. 伝え合って考えたことをさらにノートに加筆する。 12. 二枚の写真のちがいを比べることを通じて、想像を広げることができたかを振り返る。	【知識・技能】 ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ) 【態度】 ・進んで二枚の写真のちがいを比べることを通じて、学習課題に沿って、二枚の写真の間にあったできごとを想像しようとしている。 【言語活動例】 ・事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。(C(2)ア)	

一年					二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						1	言葉の文化④ 「あいうえお」であそぼう 教科書：P32 △折句の文を読み、自分の名前やすきなものの名前を使って折句の文を作る。	文化	1. 学習の見直しをもつ。 2. 教科書の「あいうえお」を使った文を声に出して読む。 3. 自分の名前やすきなものの名前をつかった折句の文を作る。 4. 作った文を紹介し合う。 5. 学習を振り返る。	【知識・技能】 ◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。(3)イ) 【態度】 ・進んで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付こうとし、学習の見直しをもって折句の文を作っている。
	2	たのしく こえに だして よもう あめの うた 教科書：P6 □定型から生まれるリズムや響き、オノマトペからのイメージの広がりをとおして詩を楽しむ。 ☆学習用語：想像	読む	第1・2時 1. 学習の見直しをもつ。 2. 雨(の音)について交流し合う。 3. 一人読み、ペア読み(一行ずつ交代して読む)、一斉読みなどをして、音読を繰り返す。 4. 二連の、雨が当たった物と、そこから響いてくる音のイメージを話し合う。 5. 自分だったら、どんな音をイメージするか発表し合う。 6. オノマトペの部分や当たる対象(「やね」「つち」「かわ」「はな」)を換えて、自分たちの「あめの うた」の詩を作り、発表し合う。	【知識・技能】 ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C1)エ) 【態度】 ・進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見直しをもって音読しようとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ)	10 (書く 10)	二 様子をよく見て、くわしく書こう おもしろいもの、見つけたよ 教科書：P28 ■見つけた物をよく見て、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫して、友達に様子が伝わるように詳しく文章を書く。 ★ここが大事：様子がつたわるように書く ☆学習用語：メモ／様子／大きさ／色／形／さわった感じ／はじめ／中／おわり／まとめり／矢印／読み返す	書く	第1時 ＜見直しを もとよう＞ 1. 友達に教えてあげたい、おもしろいものを友達に伝わるように紹介するという学習活動を見通す。 *既習の観察記録文と共通することが多い。異なる点として、メモの観点を自分で書いたり、メモを同じ観点でまとめ整理する点、同じ大きさのものを例示したり矢印を使ったりする点がある。思考の手立てに重点が置かれている。 第2・3時 ＜きめよう・あつめよう＞ 2. 見つけたものから、書くことを決める。 *見つけたものの様子を短い言葉でメモに書く。形、大きさ、色など観点となる言葉も書くようにさせる。 第4・5時 ＜組みたてよう＞ 3. 見つけたものの様子をメモに書き、まとめりごとに並べる。 *「はじめ」「中」「おわり」を示した構成表の上にメモを置き、まとめりを考えさせるようにする。まとめりを枠で囲ませ、意識させるとよい。 第6・7時 ＜書こう＞(重点) 4. まとまりに気をつけて、文章を書く。 *例文を読み、「大事な言い方」に着目させる。大きさを数値と共に同じような大きさのものを例示していたり、矢印を用いて大きさの向きをわかりやすく表したりしていることに気づかせる。 第8時 ＜読みかえそう＞	【知識・技能】 ◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。(1)オ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B1)ウ) ◎「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。(B1)オ) 【態度】 ・進んで、友達に自分が見つけたものの様子が分かるように書き表し方を工夫し、学習課題に沿って、文章に対する感想を伝え合おうとしている。 【言語活動例】 ・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B2)ア)

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	6 (書く6)	つたえたい ことを よく 見て、かこう しらせたいな、いきものの ひみつ 教科書：P8 ■生き物とふれ合ったことや 見聞きしたことを思い出し、 伝えたいことを明確にして書 く。 ☆学習用語：伝える／メモ／ 様子／思ったこと	書く	第1時 1. 身の回りの生き物について書いて友達に知らせるという学習活動を見通す。 第2時 2. 生き物とふれ合ったことや見聞きしたことから、伝えたい生き物を決める。 第3時 3. よく思い出して、メモに書く。 第4・5時 4. メモに書いたことから、伝えたいことを選び、書く。 第6時 5. 友達と読み合う。 6. 生き物の秘密を伝えるためにどんなところに気がつけたか、めあてにそって振り返る。 ※メモの作り方（観点）については2年生と一緒にいき、交流しながら作成できるようにする。 ※2年生に紹介したり、書いたものを掲示したりし、見合えるようにする。	【知識・技能】 ◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・進んで生き物と触れ合ったことや見聞きしたことなどを「いきもののひみつ」として決め、学習の見通しをもって友達に伝えようとしている。 【言語活動例】 ・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)				5. 書いた文章を、声に出して読み返す。 * 声を出して読むことで、推敲を習慣とし、誤字脱字などに自分で気づかせるようにする。 第9時 <つたえ合おう> (重点) 6. 友達と文章を読み合う。 * お互いの文章のよいところを認め合い、感想を伝えるようにさせる。 第10時 <ふりかえろう> 7. 見つけたものの様子を伝えるためにどんなことに気がつけたか、めあてにそって振り返る。 * 自分や友達の文章のよさにも着目させる。 ※メモの作り方（観点）については1年生と一緒にいき、交流しながら作成できるようにする。 ※1年生に紹介したり、書いたものを掲示したりし、見合えるようにする。	

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	6	<p>一 だいじな ことばを えらんで よみ、せつめいしよう</p> <p>はたらく じどう車</p> <p>教科書：P12</p> <p>□「やくわり」と「つくり」に気をつけて、はたらく自動車について説明した文章を読む。</p> <p>★ここがだいじ：なにについて かいて あるか、かんがえる</p> <p>☆学習用語：だいじなことば／やくわりの文／つくりの文</p>	読む	<p>第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 単元扉を読み、「だいじなことば」とは、どんな言葉を目指すのかを考えたり、説明をする方法について確認したりして、学習の見通しをもつ。 (1)「だれが、たべたのしょう」に書かれていた「だいじなことば」にはどんな言葉があったかを想起し、「はたらくじどう車」にも大事な言葉があることを確認する。 (2)「だいじなことば」は、繰り返し出てくる言葉を見付けることがヒントになることを確認する。 (3)教師の範読を聞き、どんな言葉が「だいじなことば」になるか、文中から選ぶ。</p> <p>第2時 ＜たしかめよう＞ 2. 『はたらく じどう車』には、どんな自動車が出てきたのかを確認する。 (1)書かれた順序に沿って、『はたらく じどう車』の名前を確認する。 (2)本文の中に繰り返し出てくる言葉には、どのようなものがあったかを確認する。</p> <p>第3・4時 ＜くわしくよもう＞ 3. 一つ一つの自動車について、「やくわり」と「つくり」を表にまとめる。 (1)それぞれの自動車にどのような「やくわり」と「つくり」があるのか、考えて選び出す。 (2)本文に出てくる自動車の「やくわり」と「つくり」のつながりを説明する。</p>	<p>【知識・技能】 ◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(1)オ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ)</p> <p>【態度】 ・進んで語句の量を増やそうとしたり、順序を考えたりして、学習課題に沿って、内容の大体を捉えようとしている。</p> <p>【言語活動例】 ・事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。(C(2)ア)</p>	12 (書く4)	<p>五 せつめいのくふうをたしかめて読み、せつめい書を書こう</p> <p>ジャンプロケットを作ろう</p> <p>教科書：P70</p> <p>□■順序を示す書き方を知る。</p> <p>★ここが大事：じゅんじょをしめす書き方でせつめいする</p> <p>☆学習用語：説明の工夫／順序／まず／つぎに</p>	読む	<p>第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 単元扉を読み、「せつめいのくふうをたしかめて読む」とは、どんな読み方なのかを考えたり、説明書を書く方法について確認したりして、学習の見通しをもつ。 (1)おもちゃの説明書に書かれている言葉には、どんな言葉があるかを想起する。 (2)「せつめいのくふう」は、本文に出てくるジャンプロケットの重要な語や文がどうやってわかりやすい書き方になっているかを読むことだ、と確認をする。</p> <p>第2・3時 ＜たしかめよう＞ 2. 本文に書かれた内容の大体を確認する。 (1)用意する材料と、道具は何だったのかを読み取り、ペアを作って確認する。 (2)作業手順がどんな順序となるか、段落の切れ目を確かめることで理解する。</p> <p>第4～7時 ＜くわしくよもう＞ 3. ジャンプロケットが完成するまでの順序や、すること、気をつけることの種類で整理する。 (1)「一 とび出すしかけを作る」を読み、表を使って整理する。 (2)「二 ロケットとはっしゃ台を作る」を読み、表を使って整理する。 (3)「あそび方」を読み、表を使って整理する。</p>	<p>【知識・技能】 ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。(B(1)イ) ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ) ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)</p> <p>【態度】 ・進んで説明の工夫を見つけようとし、学習課題に沿って、感じたことや分かったことをノートにまとめている。</p> <p>【言語活動例】 ・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア) ・事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。(C(2)ア)</p>

		一年				二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
				<p>(3)バス・コンクリートミキサー車・ショベルカー・ポンプ車の乗り物の説明の仕方、似ているところを考える。</p> <p>第5時 <まとめよう> 4. もっと知りたいと思ったことを考える。 (1)本文に登場する自動車や、その他の「はたらく じどう車」について、もっと知りたいと思ったことを書き出す。</p> <p>第6時 <つたえあおう> 5. もっと知りたいと思ったことを友達に話したり、書いたことを読み合ったりする。 (1)もっと知りたいと思ったことをペアで伝え合う。 (2)伝え合って参考になったことや、新たに自分も知りたいと思えたことを書き足す。 <ふりかえろう> 6. 「ふりかえろう」を参考に、学習全体を振り返る。 (1)上手に説明する「こつ」について、友達どうしで確かめる。 (2)「やくわり」と「つながり」が対応するか、気をつけたいことを交流する中で確かめる。</p>						<p>第8・9時 <まとめよう> 4. 作り方をわかりやすく説明するためにされている工夫をノートにまとめる。 (1)本文の写真の使い方について考える。 (2)文の書き方について、「わかりやすい」と思った工夫をノート等に記入する。</p> <p>第10～12時 <つたえあおう> 5. 前時に書いたノートを友達と読み合い、考えを広げる。 (1)ペアを作り、ノートを互いに読み合う。 (2)読み合いを通じて考えたことを加筆する。 <ふりかえろう> 6. 「ジャンプロケット」の作り方の説明の書き方を探したノートについて、できばえをふりかえる。 (1)「ジャンプロケットを作ろう」の書き方について、どんな工夫を見付けられたかを振り返る。 (2)次の単元で「おもちゃのせつめいしょ」を書く際に、どんなことを真似してみたいか、記述をする。</p>	

一年						二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	10 (書く 10)	一 だいじな ことばを え らんで よみ、せつめいしよ う 「のりものカード」で しら せよう 教科書：P20 ■乗り物について、「のりも のカード」(メモ)を用いて、 簡単な構成の説明の文章を書 く。 ★ここが だいじ：ぶんしよ うをかく ☆学習用語：メモ／文章／読 み返す	書く	第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 乗り物の「やくわり」「つくり」「できること」を書いて、友達 に知らせる学習活動について見通す。 2. 友達に知らせたい乗り物を決める。 第2～4時 ＜くみたてよう＞(重点) 3. 「やくわり」「つくり」「できること」をメモに書く。 第5・6時 ＜かこう＞ 4. メモをもとに「のりものカード」を書く。 第7・8時 ＜よみかえそう＞ 5. 「のりものカード」を声に出して読む。 第9時 ＜つたえあおう＞ 6. 友達と読み合う。 第10時＜ふりかえろう＞ 7. どんなことに気をつけて「のりものカード」を書いたか、めあて にそって振り返る。 ※2年生に書いたものを読んでもらい、よさや感想を伝えてもらうこ とも考えられる。	【知識・技能】 ◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助 詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、 句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理 解して文や文章の中で使っている。また、 平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、 片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の 中で使っている。(1)ウ 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、自分の思いや考 えが明確になるように、事柄の順序に沿っ て簡単な構成を考えている。(B(1)イ) 【態度】 ・進んで内容のまとまりに注意しながら文 章の構成を考え、学習の見通しをもって自 分が選んだ乗り物の「やくわり」「つく り」「できること」を絵本や図鑑から探し 「のりものカード」を書こうとしている。 【言語活動例】 ・身近なことや経験したことを報告した り、観察したことを記録したりするなど、 見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)					
11						7 (書く7)	五 せつめいのくふうをたしか めて読み、せつめい書を書こ う おもちゃのせつめい書を書こ う 教科書：P80 ■おもちゃの作り方や遊び方 について、順序にそって構成 を考え、内容のまとまりがわ かるように書き表し方をくふ うして説明書を書く。 ★ここが大事：せつめい書を書 く ☆学習用語：伝える／メモ／ 説明書／組み立て／じゅん じょ／作り方／あそび方／ 一、二、三……	書く	第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. おもちゃの説明書を書き、友達に伝える学習活動を見通す。 ＜きめよう・あつめよう＞ 2. おもちゃの作り方や遊び方を思い出し、メモに書く。 第2時 ＜組み立てよう＞ 3. メモをもとに説明書の組み立てを考える。 第3・4時 ＜書こう＞(重点) 4. 説明書を書く。 第5時＜読みかえそう＞ 5. まちがいがいか読み返す。 第6時 ＜つたえあおう＞ 6. 友達と読み合う。 第7時 ＜ふりかえろう＞ 7. おもちゃの作り方や遊び方がよくわかる説明書にするためにどん なところを工夫したか、めあてにそって振り返る。 ※おもちゃ大会の準備を進め、1年生も交えて、おもちゃ大会を行う とともに、1年生にも感想を述べてもらう。	【知識・技能】 ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報 との関係について理解している。(2)ア) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、自分の思いや考 えが明確になるように、事柄の順序に沿っ て簡単な構成を考えている。(B(1)イ) 【態度】 ・進んで説明する順序に注意し、学習課題 に沿って、わかりやすく説明する文章を書 こうとしている。 【言語活動例】 ・身近なことや経験したことを報告した り、観察したことを記録したりするなど、 見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	5 (話す聞 く5)	えを 見て つたえよう なにを して いるのかな？ 教科書：P24 ◇絵を見てうさぎの言葉を考 えて友達と話したり、友達と 組になってお話を作って話し たりする。 ☆学習用語：話し合う／お話 ／言葉	話聞	第1時 1. 単元名とリード文を読み、学習の見直しをもつ。 (1)P24・25の絵を見て、どのような学習をしたいか学習の見直しを もって学習計画を立てる。 (2)P24・25の絵を見て、うさぎが集まって、何を食べているのか、ど んな話をしているのかを全体で話し合う。 第2時 2. それぞれのうさぎの名前や家族のつながりを考えて様子を詳しく 伝える。 (1)話題にしたいことを選んでカードに書く。 (2)カードに書いたことを全体で話す。 第3時 3. 友達と組みになって、うさぎの家族のつながりを考えてお話を作 る。 (1)2・3人で組になり、それぞれのうさぎがどんなことをしているか についてカードに書く。 (2)カードを基に対話する。 第4時 4. 友達と作ったお話を全体で話す。 (1)2・3人で組になって、作ったお話を話す。 (2)作ったお話について感想を伝え合う。 第5時 5. 学習を振り返る。 (1)学習全体を振り返り、できるようになったことや感想を確かめる。	【知識・技能】 ◎身近なことを表す語句の量を増し、話や 文章の中で使うとともに、言葉には意味に よる語句のまとまりがあることに気づき、 語彙を豊かにしている。(1イオ) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、身近 なことや経験したことなどから話題を決 め、伝え合うために必要な事柄を選んで いる。(A1ア) 【態度】 ・進んで身近なことや経験したことなどか ら話題を決め、学習課題に沿って、うさぎ の家族のつながりを考えたお話を少人数で 話し合おうとしている。 【言語活動例】 ・尋ねたり応答したりするなどして、少人 数で話し合う活動。(A2イ)					
	11 (話す聞 く4)	一 じゅんじよや様子をあら わす言葉に気をつけよう さげが大きくなるまで 教科書：P8 □◇さげの成長について、季 節や場所、さげの様子の移り 変わりを考えながら、内容の 大體を読み、分かったことや 気づいたことを話す。 ★ここが大事：時・場所・大 きさを様子をせつめいする言 葉 ☆学習用語：いつ(時)／どこ で(場所)／どんな(大きさや様 子)／じゅんじよ	読む	第1時 <見直しをもとう> 1. 単元名やリード文を読み、「じゅんじよや様子をあらわす言葉に 気をつける」とは、どんな読み方なのかを考えたり、説明をする方法 について確認したりして、学習の見直しをもつ。 (1)順序や様子を表す言葉とは、どんな言葉があるかを想起する。 (2)「じゅんじよや様子を表す言葉」は、本文に出てくるさげについて 時(いつ)場所(どこで)大きさや様子(どんな)を考えて読むことだ、と確 認をする。 第2・3時 <たしかめよう> 2. 感想を伝え合うことで本文に書かれた内容の大體を確認する。 (1)100～150文字程度の簡単な感想を書き、ペアで伝え合う。 (2)1枚1枚の写真が「いつ(時)、どこで(場所)、どんな(大きさや様子) ことを捉えた写真なのかを説明することを通じて、内容の大體を確認 する。	【知識・技能】 ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報 との関係について理解している。(2ア) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、相手 に伝わるように、行動したことや経験した ことに基づいて、話す事柄の順序を考え る。(A1イ) ◎「読むこと」において、文章の中の重要 な語や文を考えて選び出している。(C1ウ) ◎「読むこと」において、文章の内容と自 分の体験とを結び付けて、感想をもってい る。(C1オ) 【態度】 ・積極的に情報と情報との関係について理 解しようとして、学習課題に沿って、文章 の中の重要な語や文を考えて選び出したり している。 【言語活動例】 ・紹介や説明、報告など伝えたいことを話 したり、それらを聞いて声に出して確かめ たり感想を述べたりする活動。(A2ア)					

一年						二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	2	かん字の ひろば① 日づけと よう日 教科書：P28 △日付と曜日を表す漢字を正しく読む。 ☆学習用語：一週間／一ヶ月／一年間	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見直しをもつ。 2. 今日は何日かを確認、日付の読み方を考える。 3. カレンダーから曜日の漢字を集め、読み方について話し合う。 第2時 4. カレンダーからそれぞれの月が何日まであるかを確認する。 5. 日付と曜日の読み方に慣れる。 6. 学習を振り返る。	【知識・技能】 ◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工 ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(1)才 【態度】 ・積極的に漢字を読み、学習課題に沿って音読しようとしている。				第4～7時 ＜くわしくよもう＞ 3. さけが大きくなるまでの様子を、時・場所・大きさや様子を表す言葉に気をつけてまとめる。 (1)2～3段落までの、大人のさけが川を登り、卵を生むまでを、表を使って整理する。 (2)4段落のふ化したさけの赤ちゃんの様子を整理する。 (3)5段落、6段落の、川を下ってきた子どものさけが八センチメートルぐらいに成長した様子を整理する。 (4)7～10段落までの、海を泳ぎ始めてから産卵期に自分が生まれたもとの川へ帰ってくるまでの様子を整理する。 第8・9時 ＜まとめよう＞ 4. 「さけて、すごいな。」と自分が一番思うところと、そのわけを書く。 (1)挿絵と前時までの学習を確認し、自分がいちばん心に残った段落を選ぶ。 (2)選んだ箇所を中心に、どのようなことをすごいと思ったのかと、そのわけをノート等に記入する。 第10・11時 ＜つたえあおう＞ 5. 前時に作成した文章を友達と読み合い、考えを広げる。 (1)ペアを作り、文章を互いに読み合う。 (2)読み合いを通じて考えたことを加筆する。 ＜ふり返ろう＞ 6. さけが大きくなるまでの感想について、出来栄をふりかえる。 (1)「時・場所・大きさや様子」のうち、どんな言葉に気がつけたかを考え、記述して振り返る。 (2)自分の感想をまとめるときに、どんなことに気をつけて書いたかを考え記述して振り返る。	・事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。(C2)ア)

一年						二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	10 (書く4)	二 だれが なにを したか を たしかめよう うみへの ながい たび 教科書：P32 □■白くまの様子を考えなが ら声に出して読み、写真と文 から、誰が何をしたかを確か めて、書く。 ★ここが大事：だれが なに を したかを かんがえる ☆学習用語：できごと／順序 ／時	読む	第1時 <見通しをもとう> 1. 単元とびらを読み、学習の見通しをもたせる。 第2・3時 <たしかめよう> 2. 「ながいたび」は、どのような旅なのか考えながら読む。 (1)誰が出てくるかを確認する。 (2)3枚の写真を見て、だれが何をしているのかを考える。 第4時 <くわしくよもう> 3. P35の写真とP45の写真を比べて違いを見つける。 第5・6時 <まとめよう> 4. <たしかめよう>(2)の3枚の写真から、好きな1枚を選んで、そ の理由とともに発表する。 第7～9時 <つたえあおう> 5. 7枚の写真から好きな1枚を選び、登場人物になったつもりで言 葉を考える。 第10時 <ふりかえろう> 6. この単元で学んだことを振り返る。 (1)誰が何を言ったかを考えるのにどのようなことを気付けたかを振 り返る。 (2)白くまの親子の言葉を考える時に大切にすることを考える。	【知識・技能】 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付 けて音読している。(1)ク ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報 との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、場面の様子や登 場人物の行動など、内容の大体を捉えてい る。(C1)イ ○「読むこと」において、場面の様子に着 目して、登場人物の行動を具体的に想像し ている。(C1)エ ○「書くこと」において、語と語や文と文 との続き方に注意しながら、内容のまと まりが分かるように書き表し方を工夫してい る。(B1)ウ 【態度】 ・学習課題に沿って、本文の言葉をもとに 登場人物の行動を具体的に想像し、進んで 発表しようとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだ りして、内容や感想などを伝え合ったり、 演じたりする活動。(C2)イ	2	漢字の広場④ 漢字のつかい方と読み方 教科書：P66 △漢字の使い方や読み方、意 味などを考えて漢字を正しく 使う。 ☆学習用語：おくりがな	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 2. 「生」という漢字のいろいろな使い方を考える。 3. P66上段の設問をもとに「生」の読み方について、話し合う。 4. 「後」「行」「通」の読み方と、それぞれの意味の違いを考え、 話し合う。 第2時 5. 送り仮名によって読み方が変わる漢字をもとに、「おくりがな」 の役割を考える。 6. P67下段の設問をもとに、読み方によって送り仮名が変わることを 理解する。 7. 複数の読み方がある漢字を集めて、短文を作り、発表し合う。	【知識・技能】 ◎第1学年においては、別表の学年別漢字 配当表の第1学年に配当されている漢字を 読み、漸次書き、文や文章の中で使ってい る。第2学年においては、学年別漢字配当 表の第2学年までに配当されている漢字を 読んでいる。また、第1学年に配当されて いる漢字を書き、文や文章の中で使うとと もに、第2学年に配当されている漢字を漸 次書き、文や文章の中で使っている。(1)工 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されて いる漢字を読み、学習の見通しをもって漢 字を正しく使おうとしている。

一年					二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						2 (書く 2)	一年生で学んだ漢字③ 教科書：P68 △■絵を見て想像したことをもとに、一年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	漢字	第3・4時 8. 絵の中の言葉の読み方を確認する。 9. 教科書の絵と言葉を参考に、絵に描かれている様子から想像できる短文を作り、語と語の続き方に注意して文を書く。 10. 主語と述語のつながりに気をつけて、絵の中の言葉を使って2文以上が続くように書き、発表し合う。 11. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1工) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態度】 ・積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見直しをもって文や文章を書くとしている。 【言語活動例】 ・簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B(2)ウ)
	6 (書く 6)	三しゃしんをよく見て、そうぞうしよう きこえてきたよ、こんなことば 教科書：P50 ■写真をもとに、出来事を想像したりふきだしの中の言葉を考えたりして、お話を書く。 ★ここが だいじ：おはなしをかんがえる ☆学習用語：想像する／お話を考える／「いつ」／「どこで」／「だれが」／「なにを」／吹き出し	書く	第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 写真をもとにお話を考えて書く学習活動について知り、見通しをもつ。 ＜きめよう・あつめよう＞(重点) 2. じっくりと写真を見て、気づいたことを出し合ったり、想像したことを話したりする。 第2・3時 ＜くみためよう＞ 3. 写真を見て、心に浮かんだ言葉や想像した言葉を吹き出しに書く。 4. 吹き出しの言葉をもとに前後を想像し、お話を考える。 第4・5時 ＜かこう＞ 5. 考えたお話を書く。 ＜よみかえそう＞ 6. 声に出して読み返す。 第6時 ＜つたえあおう＞ 7. 友達と読み合う。 ＜ふりかえろう＞ 8. 写真からお話を考えるときにどんな工夫をしたか、めあてにそって、振り返る。 ※2年生に発表したり感想を述べてもらったりする。	【知識・技能】 ◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1ウ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・進んで想像したことから書くことを見付け、今までの学習を生かして簡単なお話を書き、友達に伝えようとしている。 【言語活動例】 ・簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B(2)ウ)	6 (書く 6)	心がうごいたことを書こう みじかい言葉で 教科書：P64 ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方をくふうして心が動いたことを短い言葉で書く。	書く	第1・2時 1. P64・65を読み、心が動いた時に見たこと、したこと、感じたことを短い言葉で書くという学習活動を見通す。 第3時 2. 心が動いたことを書くときの表現を集める。 第4時 3. 心が動いたことを短い言葉で書く。 第5時 4. 作品を読み返す。	【知識・技能】 ◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(1ア) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態度】

一年					二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
12							★ここが大事：心がうごいたときに感じたことを短い言葉で書く ☆学習用語：心が動く／なりきる／短い言葉で		第6時 5. 作品を読み合い、感想を伝え合う。 6. 心が動いたことを短い言葉で書くためにどことなくふうをしたか、めあてにそって学習を振り返る。 ※1年生に書いたものを発表し、感想をもらう。	・進んで言葉の書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、心が動いたことを短い言葉で書いたり友達の作品のよさを見つけようとしていたりしている。 【言語活動例】 ・簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B(2)ウ)
	3	ことばの ぶんか① 天に のぼった おげやさん 教科書：P54 △□古くから伝わっている話を、興味をもって聞き、好きなところを音読する。	文化	第1時 1. 学習の見通しをもつ。 2. 昔話について、簡単に知る。 3. 絵を見て、順序を考えながら、教師の音読を聞く。 4. 挿絵を手がかりにお話の順序を確かめる。 第2・3時 5. おもしろかったところを発表する。 6. 学習を振り返る。 ※2年生におもしろかったところの音読を聞いてもらう。	【知識・技能】 ◎昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。(3)ア) 【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C1)エ) 【態度】 ・進んで昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、学習の見通しをもっておもしろかったところを発表しようとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ)					

一年					二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	2	ことばの ひろば① かたかな 教科書：P56 △片仮名の書き方や使い方に慣れ、正しく使う。 ☆学習用語：片仮名／言葉／漢字／小さく／書く片仮名／伸ばす音	言語	第1時 1. 学習内容を理解し、日常化への見直しをもつ。 2. P56を参考に、片仮名で書く言葉を発表したり、自分でも仲間ごとに言葉を集め、ノートに書いたりする。 第2時 3. まちがえやすい字形の片仮名を、書き順や形に気をつけて書く練習をする。 4. 片仮名の濁音と半濁音、促音、拗音や長音の言葉を読んだり書いたりする。 5. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(1)オ) 【態度】 ・積極的に片仮名を読み、見直しをもって読んだり書いたりしようとしている。	8 (話す聞 <8)	四 しつもんしたり答えたりして、つないで話し合おう 「クラスお楽しみ会」をひらこう 教科書：P60 ◇話し合いでクラスで行う遊びを決め、「クラスお楽しみ会」を開く。 ★ここが大事：つないで話し合う ☆学習用語：カード／理由／質問／つなぐ／話し合い／伝える	話聞	第1時 <見直しをもとう> 1. 単元名とリード文を読み、学習の見直しをもつ。 (1)「クラスお楽しみ会」で遊ぶ遊びを決めるために、グループで話し合うという学習の見直しをもって「学習の すすめ方」をもとに学習計画を立てる。 第2時 <きめよう・あつめよう> 2. やりたい遊びを考える。 (1)やりたい遊びを書き出し、その中から一つ選ぶ。 第3時 <組み立てよう> 3. 考えた遊びとその理由をカードに書く。 (1)カードに「クラスお楽しみ会」でやりたい遊びとその理由を書く。 第4時 <話そう・聞こう> (重点) 4. 話し合いを行い、クラスに伝える。 (1)P61とP62を読み、話し合いの流れを知る。 (2)P63「ここが大事」を読み、話し合いの仕方を知る。 第5時 (3)カードを使って話し合う。 第6時 (4)グループの話し合いをクラスに伝える。 第7時 <つたえ合おう> 5. 感想を伝え合う。 (1)グループでの話し合いについて、友達の話をつないで話し合うために、どんな工夫をしたかを伝え合う。 第8時 <ふりかえろう> 6. 学習を振り返る。 (1)学習全体を振り返り、できるようになったことや感想を確かめる。 ※教科書を参考に話し合いの仕方などを教師とおさえ、そのことをもとに学級活動の時間などで2年生が中心となって、1年生と合同で話し合う活動を行うなど、工夫して取り組む。	【知識・技能】 ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A(1)オ) 【態度】 ・積極的に互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないで、学習課題に沿って「クラスお楽しみ会」で遊ぶ遊びを決めるために、グループで話し合うとしている。 【言語活動例】 ・尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。(A(2)イ)

一年						二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	2	かん字の ひろば② かん字の よみかた 教科書：P58 △漢字には、使い方によって読み方が変わるものがあることを理解する。 ☆学習用語：漢字	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見直しをもつ。 2. 「山のぼりをする」「ふじ山を見る」を声に出して読み、「山」の読み方の違いを考える。 3. 「日」を含む文を声に出して読み、「日」の読み方の違いを考える。 4. 「山」「日」を使った言葉を集め、それぞれにどんな読み方があるかを確かめ、話し合う。 第2時 5. P59の設問を考え、それぞれの漢字の読み方を確かめる。 6. 既習漢字から読み方が一つだけではないものを探し、それぞれにどんな読み方があるかを確かめ、話し合う。 7. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工) 【態度】 ・進んで漢字を読み、今までの学習を生かして、使い方によって複数の読み方がある漢字を知ろうとしている。					
	4 (書く 4)	気持ちを かいて、よみかえそ う こころが あたたかくなる 手が み 教科書：P60 ■相手を決めて、気持ちが伝 わるように手紙を書く。 ☆学習用語：手紙／相手／気 持ち／読み返す	書く	第1時 1. 手紙を書くという学習活動について知り、見直しをもつ。 第2時 2. 相手に伝えたい気持ちをはっきりさせる。 第3時 3. 手紙を書いて、読み返す。 第4時 4. 手紙を渡す。 5. 手紙のよさを考え、振り返る。 ※他学年の児童などに手紙を書き、返事をもらう。	【知識・技能】 ◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(1)ア) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。(B(1)工) 【態度】 ・進んで手紙のよさについて考え、学習課題に沿って、相手を想定して思ったことや伝えたいことを書こうとしている。 【言語活動例】 ・日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動。(B(2)イ)					

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	6	四 ようすを おもいうかべながら よもう スイミー 教科書：P64 □どのようなお話か考えながら読み、おもしろかったところを紹介する。 ★ここが大事：ようすを おもいうかべる ☆学習用語：様子／訳／はじめ／おわり／わけ／なぜ	読む	第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 単元扉を読み、見通しをもつ。 ＜たしかめよう＞ 2. 登場人物やお話の内容を確認する。 (1)お話に誰が出てきたのかを確認する。 (2)はじめとおわりでなにが変わっているのかを確認する。 第2・3時 ＜くわしくよもう＞ 3. 場面の様子から登場人物の行動の理由を考える。 (1)スイミーがすばらしいものやおもしろいものを見た時の様子を思い浮かべながらスイミーの言葉を考える。 (2)(1)の言葉の理由を考える。 第4時 ＜まとめよう＞ 4. スイミーはどうして変わったのか、場面の様子に着目しながら考える。 第5時 ＜つたえあおう＞ 5. お話を読んで心に残ったところを伝え合う。 第6時 ＜ふりかえろう＞ 6. この単元で学習したことを振り返る。 (1)様子を思い浮かべて読むには、何が大切だったか振り返る。 (2)友達の紹介した場面のよさを考える。 ※登場人物の変化について2年生や教師と確認する。	【知識・技能】 ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)工 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C1)工 【態度】 ・進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って、お話の表現のよさや面白さに気付き、発表しようとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを讀んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ	7	三 心にのこったところをしようかいしあおう ないた赤おに 教科書：P34 □登場人物の気持ちの移り変わりを考えながら、『ないた赤おに』を読み、心に残ったことを話し合う。 ★ここが大事：自分の考えをふりかえる ☆学習用語：登場人物／出来事／変化	読む	第1・2時 ＜見通しをもとう＞ 1. 単元扉を読み、単元の見通しと初読の感想をもたせる。 ＜たしかめよう＞ 2. 登場人物と出来事確かめる。 第3・4時 ＜くわしくよもう＞ 3. 人間たちや青おにとのかかわりから、赤おにがどのように変わったかを考える。 第5時 ＜まとめよう＞ 4. 赤おにと青おにがそれぞれどのようなおになのかを考える。 第6・7時 ＜つたえあおう＞ 5. お話を読んで心に残ったこととその理由を紹介し合う。 ＜ふりかえろう＞ 6. 心に残ったことを考える時に大切にしたことや、心に残ったことを紹介し合って気づいたことを振り返る。 ※登場人物の変化について1年生や教師に理由を明確にして説明する。	【知識・技能】 ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク 【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C1)工 ◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C1)オ ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C1)カ 【態度】 ・進んで言葉や表現に着目しながらお話を読み、学習課題に沿って繰り返し読むことで、初読の感想から自分の考えを深めようとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを讀んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	4	どくしょの ひろば 「おはなしどうぶつえん」をつくろう 教科書：P82 △□動物の出る本を読んで、友達に紹介する。 ☆学習用語：題名／作者／カード	読書	第1～3時 1. 「おはなしどうぶつえん」を作り、動物の出るお話を紹介するという学習内容をつかみ、学習の見通しをもつ。 (1)動物の出る本を探して、読む。 2. 紹介カードを書き、動物ごとに貼り、「おはなしどうぶつえん」を作る。 第4時 3. 「おはなしどうぶつえん」を開き、本の紹介をする。 (1)好きな場面や心に残ったことを発表し合う。 (2)紹介された本を読み、「おきゃくさまカード」を貼る。 4. 学習を振り返る。 ※2年生に読んだ本を紹介し、感想を述べてもらう。また、2年生と合同で読んだ本の紹介を行い、感想を交流するなどの工夫を行う。	【知識・技能】 ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(1)ア) ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ)	5	読書の広場③ 「お話しじゅつかん」を作ろう 教科書：P56 △□自分の読んだ本の中でいちばん心に残ったところを絵に描いて紹介する。 ☆学習用語：題名／作者	読書	第1・2時 1. 本の中でいちばん心に残ったところを絵に描いて紹介するという学習内容をつかみ、学習の見通しをもつ。 2. 今までに読んできた本を振り返り、心に残ったことやその訳をメモする。 第3・4時 3. 「お話しじゅつかん」の作品を作る。 (1)紹介したい本を選び、心に残ったところを絵に描く。 (2)作品に題名を工夫してつけ、展示する。 第5時 4. 「お話しじゅつかん」の作品の前で、本を紹介し合う。 5. 学習を振り返る。 ※1年生に読んだ本を紹介し、感想を述べてもらう。また、1年生と合同で読んだ本の紹介を行い、感想を交流するなどの工夫を行う。	【知識・技能】 ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ) 【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C1)オ) ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C1)カ) 【態度】 ・「お話しじゅつかん」を作るという活動に見通しをもち、動物の出るお話を進んで読み、粘り強く紹介カード作りの活動に取り組んでいる。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ) ・学校図書館などを利用し、図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動。(C2)ウ)
1	2	しを よもう ゆき 教科書：P86 □言葉が生み出すイメージの広がりや、音読をとおして、詩を楽しむ。 ☆学習用語：詩	読む	第1・2時 1. 学習の見通しをもつ。 2. 雪について、知っていることを発表する。 3. 一人読み、ペア読み(一行ずつ交代して読む)、一斉読みなどをして、音読を繰り返した後に、作品に対する感想を発表する。 4. 連ごとにイメージを発表し合う。 5. 「ゆき」の様子を思い浮かべながら自由に音読し、発表し合う。	【知識・技能】 ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C1)エ) 【態度】 ・進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ)	2	しを読もう せかいじゅうの海が 教科書：P84 □音読をとおして言葉のリズムや響きを楽しむとともに、無限に広がる想像の世界を楽しむ。	読む	第1・2時 1. 学習の見通しをもつ。 2. 「題名」に着目するように助言してから、教師が範読する。次に、児童が一人読み、一斉読みをしながら、音読をする。 3. 1～4連それぞれで、その大きさをイメージする。 4. 5連の大きさをイメージする。 5. 音読を工夫して発表し合う。 6. 「どんなに大きな……だろう。」から想像し、絵に描いたり思ったことを書いたりする。 7. できあがったものを紹介し、感想を発表し合う。	【知識・技能】 ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C1)エ) 【態度】 ・積極的に文章を読んで感じたことや分かったことを共有し、学習の見通しをもって想像したことを発表しようとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ)

一年					二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	14 (書く 7)	五 した ことと むすびつ けて よもう みぶりで つたえる 教科書：P90 □■文章と絵の対応に気をつ けながら読み、いろいろな身 ぶりが表すことを説明する文 章を書く。 ★ここがだいじ：じぶんのし た ことと むすびつけて よむ ☆学習用語：みぶり／むすび つける／説明	読む	第1・2時 ＜見通しをもとう＞ 1. 単元扉を読み、「じぶんのしたこととむすびつけてよむ」とは、ど んな読み方なのかを考えたり、説明をする方法について確認したりし て、学習の見直しをもつ。 (1)「みぶり」とは、体の動きであることを確認し、これまでしたこと のある身ぶりを想起する。 (2)「じぶんのしたこととむすびつけてよむ」とは、本文に出てくる身 ぶりを実際に行いながら読むことだ、と確認をする。 (3)教師の範読を聞き、本文に登場する身ぶりを実際に行ってみる。 第3・4時 ＜たしかめよう＞ 2. 『みぶりで つたえる』には、どんな身ぶりが出てきたのかを確認 する。 (1)ペアで活動し、音読をする側と身ぶりをする側に分かれる。 (2)『みぶりで つたえる』で説明されている身ぶりがいくつあるのか を確認する。 第5～7時 ＜くわしくよもう＞ 3. 本文に出てきたみぶりについて一つ一つ正確に押さえる。 (1)文と挿絵を結び付けて、どの文がどの身ぶりについて説明してい るのかを確認する。 (2)それぞれの絵が、どんなときにどんなことを伝えようとしているの かを調べる。 第8～11時 ＜まとめよう＞ 4. 日頃の生活の中での経験と本文を結びつける。 (1)挿絵を参考にし、普段の生活で、どのような身ぶりをどのようなと きに使っているのかを想起し、確認する。 (2)自分が身ぶりを使ったことで、どんな良いことがあったか、を書 く。 第12～14時 ＜つたえあおう＞ 5. 前時に書いた文章を読み合い、感想を伝え合う。 (1)ペアで読み合いを行い、感想を伝える場をもつ。 ＜ふりかえろう＞ 6. 学習全体をふりかえる。 (1)読み合いをした結果、どんな良さに気づくことができたのかを考え る。 ※2年生に身ぶりを紹介する。	【知識・技能】 ◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経 験したことを伝える働きがあることに気付 いている。(1)ア) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、文章に対する感 想を伝え合い、自分の文章の内容や表現の よいところを見付けている。(B(1)オ) ○「読むこと」において、文章の内容と自 分の体験とを結び付けて、感想をもってい る。(C(1)オ) ○「読むこと」において、文章を読んで感 じたことや分かったことを共有している。 (C(1)カ) 【態度】 ・積極的に文章の内容と自分の体験とを結 び付けて、学習課題に沿って考えたことを 文章にまとめようとしている。 【言語活動例】 ・簡単な物語をつくるなど、感じたことや 想像したことを書く活動。(B(2)ウ) ・事物の仕組みを説明した文章などを読 み、分かったことや考えたことを述べる活 動。(C(2)ア)	11 (話す 聞く3)	六 場面や人物の様子をそ ぞうして、音読げきをしよう かさこじぞう 教科書：P88 □◇文章を読んで、場面や登 場人物の様子に着目して具体 的に想像し、伝え合ったり演 じたりする。 ★ここが大事：場面や人物の 様子がつたわるように音読す る ☆学習用語：登場人物／音読 ／場面／発表／様子	読む	第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 単元の見直しをもつ。 第2時 ＜たしかめよう＞ 2. お話の内容の大体をつかむ。 (1)登場人物を確かめる。 (2)お話の中のできごとや、はじめと終わりで何が変わったのかを確か める。 第3～6時 ＜くわしくよもう＞ 3. 音読劇をするために、劇を通して伝えるべき場面や人物の様子を 考える。 (1)6人の地蔵様は、なぜいろいろなものをじいさまとばあさまに届け たのでしょうか。 (2)じいさまとばあさまは、どのような人物だと思いますか。それがわ かるころを見つけて紹介しましょう。 第7・8時 ＜まとめよう＞ 4. お話の中で好きな場面を選び、理由とともに紹介する。 第9・10時 ＜つたえあおう＞ 5. グループで役割分担をし、準備をして音読発表会を行う。 (1)場面や人物の様子が伝わるようにどこをどのように工夫するのかを 相談しましょう。 (2)役の分担を決めて、音読発表会を開きましょう。ほかのグループの 発表を聞いて感想を伝えましょう。 第11時 ＜ふりかえろう＞ 6. 音読発表会を振り返る。 (1)場面や人物の様子を考える時に、気を付けたことを振り返る。 (2)音読発表会を経て、改めて音読してみたいと思ったものを見つけ る。 ※音読を1年生に聞いてもらう。	【知識・技能】 ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付 けて音読している。(1)ク) 【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、場面の様子に着 目して、登場人物の行動を具体的に想像し ている。(C(1)エ) ○「読むこと」において、文章を読んで感 じたことや分かったことを共有している。 (C(1)カ) ○「話すこと・聞くこと」において、お互 いの話に関心をもち、相手の発言を受けて 話をつないでいる。(A(1)オ) 【態度】 ・進んで、場面の様子に着目して登場人物 の行動を具体的に想像し、学習の見直しを もって音読発表会をしようとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを読んだ りして、内容や感想などを伝え合ったり、 演じたりする活動。(C(2)イ)

一年					二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	2 (書く 1)	ことばの ひろば② 文をつくろう 教科書：P102 △■主語と述語の関係を気をつけながら、いろいろな文を作る。 ☆学習用語：だれ(なに)が／どうした(どうしている)	言語	1. 学習の見直しをもつ。 2. 冒頭の会話文を通して、文作りにおいて主語と述語の対応が重要だということを知る。 3. P102に描かれた事柄を、「だれ(なに)がどうしています」の文型にあてはめながら文を作り、発表する。 4. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎文の中における主語と述語との関係に気付いている。(1)カ) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(1)オ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態度】 ・進んで文の中における主語と述語との関係に気付こうとし、学習課題に沿って簡単な文を作ろうとしている。 【言語活動例】 ・簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B(2)ウ)	3	言葉の文化⑤ かるたであそぼう 教科書：P106 △日本に古くから伝承されている昔遊び(かるた)を知り、実際に遊ぶことをとおしてその魅力を知る。	文化	第1・2時 1. 昔から伝わるかるたについて知るとい見直しをもつ。 2. グループでかるたを作成し、実際に体験する。 第3時 3. 地域のかるたについて由来を調べ、実際に体験をととして言葉の豊かさに気づく。 4. 学習を振り返る。	【知識・技能】 ◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。(3)イ) 【態度】 ・進んで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付き、学習の見直しをもってかるたを楽しもうとしている。
	2	かん字の ひろば③ わかる よみかた 教科書：P104 △漢字には、使い方によって読み方が変わるものがあることを理解する。 ☆学習用語：読み方	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見直しをもつ。 2. P104上段の文を声に出して読み、「一台」と「一けん」の読み方を比べ違いを考える。 3. 「一台」と「一けん」のように助数詞が変わると、「いち」が「いっ」と数詞の読み方が促音化するものがあることに気づくことができるようにする。 第2時 4. P105上段の設問を考え、それぞれの言葉の読み方を確かめ、話し合う。 5. P105下段の設問を考え、それぞれの言葉の読み方を確かめ、それらの言葉を使って短い文を作り、発表し合う。 6. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) 【態度】 ・進んで漢字を読み、今までの学習を生かして、使い方によって読み方が変わる漢字を知ろうとしている。	3	言葉の広場⑤ 主語とじゅつ語 教科書：P110 △文を読んで、主語と述語の対応を考え、正しく使うことができる。 ☆学習用語：主語／述語	言語	第1時 1. 学習の見直しをもつ。 2. 冒頭の会話文をととして、文作りにおいて主語と述語の対応が重要だということを知る。 3. 省略されている主語を考えることを通して、主語を明示することの重要性に気づく。 第2時 4. 教科書を読みながら、①～③の例文の形を確認していく。 第3時 5. ①～③の例文と同じ形の文を作る。 6. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎文の中における主語と述語との関係に気付いている。(1)カ) 【態度】 ・積極的に文の中における主語と述語との関係に気づき、学習の見直しをもって文を読んだり書いたりしようとしている。

一年					二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						2	漢字の広場⑤ 同じ読み方の漢字 教科書：P112 △同じ読み方の漢字を集め、漢字を正しく使う。	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 2. P112上段の文を声に出して読み、気づいたことを話し合う。 3. P112下段の設問について考える。 4. 「かい」「せい」など同じ読み方をする漢字を集めて文を作り、友達と読み合い、それぞれの漢字の意味や使い方の違いについて話し合う。 第2時 5. P113の「か」「とう」「し」と読む漢字を集めて語句を作り、発表し合う。 6. 同じ読み方をする漢字を集めて問題を作り、解答し合う。 7. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工 【態度】 ・積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって、同じ読み方の漢字を正しく使おうとしている。

一年						二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
2	8 (話す 聞く 8)	六 ききたい ことを おと さないように きこう はじめて した 学校の こと 教科書：P106 ◇学校で働いている人に、知 りたいことを尋ねて、聞いた ことをメモに書き、メモを基 にクラスのみんに伝える。 ★ここが だいじ：はなしを ききに いく とき ☆学習用語：伝える／質問／ メモ／お話／理由／様子／発 表／気持ち	話聞	第1時 <見通しをもとう> 1. 単元名とリード文を読み、学習の見通しをもつ。 (1)学校のことをみんなに伝えるという学習の見通しをもって「がく しゅうの すすめかた」を基に学習計画を立てる。 第2時 <きめよう・あつめよう> 2. 話を聞く相手と、聞きたいことを決める。 (1)先生や学校で働いている人のことを思い出し、話を一緒に聞きに行 く友達と、話を聞きたい相手や聞きたいことについて決める。 第3時 <くみ立てよう> 3. 決めたことを基に、メモを作る。 (1)P107の「2」とP109の「4」を読み、話を一緒に聞きに行く友達と決 めたことを基に、メモを作る。 第4時 4. 一緒に聞きに行く友達と練習する。 (1)P107の「ここが だいじ」とP108の「3」を参考に、一緒に聞きに 行く友達と聞くことを分担したり、相手に応じた言葉遣いを考えて練習 したりする。 第5時 <はなそう・きこう> (重点) 5. 話を聞きに行く。 (1)P109の「4」を読み、次時に聞いたことをメモに書くことを知り、実 際に聞きに行く。 第6時 <つたえあおう> 6. 聞いたことを思い出してメモに書く。 (1)聞いたことを思い出しながら協力してメモを書く。 (2)メモをもとにクラスのみんに話すことを確かめ、話す順番を決め て練習する。 第7時 7. メモを見ながら、聞いてきたことをみんなに伝える。 (1)全員の前で、声の大きさや話す速さに気をつけて発表する。 第8時 <ふりかえろう> 5. 学習を振り返る。 (1)学習全体を振り返り、できるようになったことや感想を確かめる。 ※2年生に発表を聞いてもらったり、感想を述べてもらったりする。	【知識・技能】 ◎丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を 付けて使うとともに、敬体で書かれた文章 に慣れている。(1)キ) 【思考・判断・表現】 ○「話すこと・聞くこと」において、伝え たい事柄や相手に応じて、声の大きさや速 さなどを工夫している。(A(1)ウ) ◎「話すこと・聞くこと」において、話し 手が知らせたいことや自分が聞きたいこと を落とさないように集中して聞き、話の内 容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ) 【態度】 ・進んで話し手が知らせたいことや自分が 聞きたいことを落とさないように集中して 聞き、学習課題に沿って、初めて知った学 校のことについてみんなに伝えようとして いる。 【言語活動例】 ・紹介や説明、報告など伝えたいことを話 したり、それらを聞いて声に出して確かめ たり感想を述べたりする活動。(A(2)ア)					

一年					二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						4 (話す聞く4)	じゅんじょに気をつけてせつめいしよう おはじきのあそび方 教科書：P108 ◇昔の遊びについて、遊び方を調べて説明する。 ☆学習用語：順序を表す言葉／メモ／説明／言葉／始め／中／終わり／順序	話聞	第1時 1. 単元名とリード文を読み、学習の見通しをもつ。 (1)昔の遊びについて、遊び方を調べて、友達に説明するという学習の見通しをもって学習計画を立てる。 2. 説明する遊びを決め、遊び方を調べる。 (1)新しく知った昔の遊びから説明する遊びを選ぶ。 第2時 (2)遊び方を調べる。 第3時 3. 説明のメモを書き、練習をする。 (1)説明をするためのメモを書く。 (2)メモをもとに、遊び方について順序に気をつけて説明する練習をする。 第4時 4. 遊び方を説明する。 (1)メモをもとに、遊び方について順序に気をつけて説明する。 5. 学習を振り返る。 (1)学習全体を振り返り、できるようになったことや感想を確かめる。 ※生活科の学習で1年生に紹介し、感想を述べてもらう。	【知識・技能】 ◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ) 【態度】 ・積極的に相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、これまでの学習を生かして、昔の遊びの遊び方について説明しようとしている。 【言語活動例】 ・紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。(A(2)ア)

一年					二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	3 (話す・聞く2)	ことばの ひろば③ ことばで つたえよう 教科書：P110 △◇目の前にあるものや経験したことなどを言葉を使って言い表し、言葉の便利さやおもしろさなどを理解し、伝え合う。 ☆学習用語：どんな／表す／様子／伝える	言語	第1時 1. 「言葉」について学ぶという学習内容を理解して、学習の見直しをもつ。 2. P110の絵を参考に、好きな給食を思い出し、自分の経験をもとにすることを理解する。 3. 自分の描いた絵から食べ物の様子を思い出し、なるべく詳しく言葉で説明する。 第2時 4. 書いた説明の文を見て、色や形などの見えるものの説明と味や食感などの見えないものの説明を分け、二種類の言葉の違いを考える。 5. 自分が描いた絵を見せながら食べたものの様子を発表し、伝える。 第3時 6. 好きな食べ物などを思い浮かべ、問題を作る。 7. 絵に描けないものでも言葉では伝えることのできるおもしろさに気づき、いろいろなものを表現することに挑戦する。 8. 学習したことを振り返る。 ※作成したクイズを二年生と出し合い、感想を述べ合う。	【知識・技能】 ◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(1)ア ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。(1)オ 【思考・判断・表現】 ○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) 【態度】 ・進んで、言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付こうとし、学習課題に沿って言葉で表そうしている。 【言語活動例】 ・紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。(A(2)ア)	3	言葉の広場⑥ 音や様子をあらわす言葉 教科書：P120 △擬声語や擬態語のはたらきなどを理解し、文の中で使う。	言語	第1時 1. 言葉には、音や様子を表すことができるものがあることを理解し、学習活動に対する見直しをもつ。 2. 「音をあらわす言葉」のはたらきや表記の仕方について理解する。 3. 「様子をあらわす言葉」のはたらきや表記の仕方について理解する。 第2時 4. 濁音の有無によって、「音や様子をあらわす言葉」から受ける感じが異なることを理解する。 5. 単純形と反復形によって、「音や様子をあらわす言葉」から受ける感じが異なることを理解する。 第3時 6. 音や様子を表す言葉の種類を広げられるよう、P121下段の設問3を考える。 7. 学習したことを振り返る。 ※音や様子を表したクイズを作成するなどして、1年生とクイズを出し合い、感想を述べ合う。	【知識・技能】 ◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。(1)オ 【態度】 ・積極的に、音や様子を表すことができるものがあることに気づき、学習の見直しをもって文の中で使おうとしている。

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						13 (書く 13)	七 思い出をくわしく書いて、読みかえそう こんなことができるようになったよ 教科書：P114 ■経験したことやできるようになったことなどについて、必要な事柄を集めたり確かめたりして文章を書き、まちがいがいないか読み返す。	書く	第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 2年生のできごとを思い出して、できるようになったことなどを書いて友達に伝える学習活動を見通す。 第2～4時 ＜きめよう・あつめよう＞(重点) 2. できごとを思い出して、書くことを決める。 3. 書きたい題材を一つ選び、詳しく思い出して、メモに書き出す。 第5・6時 ＜組み立てよう＞ 4. 文章の組み立てを考える。 第7～9時 ＜書こう＞ 5. 組み立て表の順序にそって、文章を書く。 第10・11時 ＜読みかえそう＞(重点) 6. 間違いがないか、思い出として必要なことが書かれているか、読み返す。 第12時 ＜つたえ合おう＞ 7. できあがった文章を読み合い、感想を伝え合う。 第13時 ＜ふりかえろう＞ 8. 出来事を詳しく書くためにどんな工夫をしたか、文章を読み返すときにどんなことに気づけたか、めあてにそって振り返る。 ※メモを作る、原稿用紙の使い方を確認するなど、1年生と一緒に学習する場面を設ける。 ※1年生に書いたものを発表し、感想などを述べてもらう。また、書いたものの発表を1年生と合同で行い、感想を交流するなどの工夫をする。	【知識・技能】 ◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ◎「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。(B(1)工) 【態度】 ・粘り強く文章を読み返して、今までの学習を生かして、間違いを直そうとしたり確かめたりしている。 【言語活動例】 ・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)
	10 (書く 10)	七 まとまりにわけて かき、ぶんしょうのよいところを見つけよう おもい出のアルバム 教科書：P114 ■一年間の思い出のなかで、いちばん心に残っていることを、まとまりに分けてわかりやすく書き、書いた文章に対する感想を伝え合うことで、自分の文章の内容や表現のよいところを見つける。 ここがだいじ：まとまりにわけて かく ☆学習用語：思い出す／メモ／文章／読み返す／まとまりにわける／整理する	書く	第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 1年間を振り返っていちばんの思い出を書き、友達や家の人に伝えるという学習活動を見通す。 第2・3時 ＜きめよう・あつめよう＞ 2. 伝えたいことを一つ選ぶ。 第4時 ＜くみだてよう＞ 3. 選んだ思い出をメモに書く。 4. メモを整理し書く順番を決める。 第5～7時 ＜かこう＞(重点) 4. メモをもとに文章を書く。 第8時 ＜よみかえそう＞ 5. 書いた文章を読み返す。 第9時 ＜つたえあおう＞(重点) 6. 文章を読み合う。 第10時 ＜ふりかえろう＞ 7. 相手からもらった感想をもとに、自分の文章を振り返らせる。 ※メモを作る、原稿用紙の使い方を確認するなど、2年生と一緒に学習する場面を設ける。 ※2年生に書いたものを発表し、感想などを述べてもらう。また、書いたものの発表を2年生と合同で行い、感想を交流するなどの工夫をする。	【知識・技能】 ◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のままとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ◎「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。(B(1)オ) 【態度】 ・進んで友達の文章のよさを見付けようとし、1年間のできごとを振り返って経験したことやできるようになったことなどを書き、友達と伝え合おうとしている。 【言語活動例】 ・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)	★ここが大事：けいけんしたことをくわしく書く／文章を読みかえす ☆学習用語：思い出す／メモ／順序／日記／組み立て／組み立て表／はじめ／中／おわり／読み返す／見直す／たし				

一年					二年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	3	かん字の ひろば④ にて いる かん字 教科書：P118 △形の似た漢字を正しく読んだり、書いたりする。 ☆学習用語：部分	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見直しをもつ。 2. 「人」と「入」の形の似ているところ、違うところを考える。 3. 「木」と「水」、「字」と「学」、「右」と「石」の似ているところと違うところを話し合い、字形に気をつけて、正しく書く。 第2時 4. 字形の一部に同じ部分が含まれている漢字があることに気づき、それぞれの意味を確かめる。 5. 字形の一部に同じ部分が含まれている漢字の仲間集めをする。 第3時 6. 形の似ている漢字を探し、意味や使い方を確かめ、話し合う。 7. 字形の一部に同じ部分が含まれている漢字を探し、仲間集めをする。 8. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工 【態度】 ・積極的に漢字を読み、学習課題に沿って、形の似た漢字を正しく読んだり書いたりしようとしている。	2	漢字の広場⑥ 組み合わせてできている漢字 教科書：P122 △同じ部分をもつ漢字を集め、漢字を正しく使う。	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見直しをもつ。 2. 「明」という漢字の分け方を考える。 3. 漢字の中には、左右・上下・内外などに分けられるものがあることを確かめ、漢字の組み立て方には一定のきまりがあることを理解する。 4. 「心・田」などの漢字を組み合わせてできる漢字を考え、話し合う。 5. 「心・田」などと同じような問題を作り、解答し合う。 第2時 6. 熟語を手がかりに、「言」の部分をもつ漢字を探し、発表する。 7. 「日」を部分にもつ漢字について確かめる。 8. 「土」「田」など、同じ部分(構成要素)をもつ漢字を集めて問題を作り、発表する。	【知識・技能】 ◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工 【態度】 ・積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見直しをもって、同じ部分をもつ漢字を正しく使おうとしている。
	1	ことばの ぶんか② しりとりで あそぼう 教科書：P120 △「なかまのことば」だけでつないでいく「しりとり遊び」のあることを知り、実際に活動してみる。	文化	1. 学習の見直しをもつ。 2. しりとりのルールを確認する。 3. 絵を見ながらしりとりの言葉を確認し、それぞれなんの仲間かを発表し合う。 4. なんの仲間でしりとり遊びをするかを決め、グループでしりとり遊びを楽しむ。	【知識・技能】 ◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ ◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。(3)イ 【態度】 ・進んで音節と文字との関係に気付こうとし、今までの学習を生かしてしりとりを楽しもうとしている。	2 (書く2)	一年生で学んだ漢字④ 教科書：P124 △■絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	漢字	第3・4時 9. 絵の中の言葉の読み方を確認する。 10. 教科書の絵と言葉を参考に、絵に描かれている様子から想像できる短文を作り、語と語の続き方に注意して文を書く。 11. 男の子と女の子の目に映ったものを、主語と述語のつながりに気をつけて、2文以上が続くように書き、発表し合う。 12. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態度】 ・積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見直しをもって文を書こうとしている。 【言語活動例】 ・簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B(2)ウ)

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
3	15 (書く 6)	八 おはなしを よんで おもった ことを つた えよう お手がみ 教科書：P122 □■文章を読んで、自分の体験と結び付けて、感じたことやわかったことを書き、共有する。 ★ここがだいじ：よんで おもった ことを まとめる ☆学習用語：順序／様子／場面／まとめり	読む	第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 単元扉から学習の見通しをもつ。 第2～5時 ＜たしかめよう＞ 2. お話の内容の大体をつかみ、感想を伝え合う。 (1)がまくんとかえるくんの行動や、出来事の順序を確かめ、あらすじをつかむ。 (2)心に残ったことを発表し合う。 第6～9時 ＜くわしくよもう＞ 3. 挿絵や本文の言葉から、場面の様子や変化を詳しく読む。 (1)P124・125のはじめとP132・133のおわりの場面の挿絵から、同じところと違うところを比べる。 (2)はじめとおわりで手紙を待つ場面がどのように変わったのか、挿絵と本文の言葉から考える。 第10～12時 ＜まとめよう＞ 4. お話の好きな場面を選び、好きな場面に出てくる人に手紙を書く。 (1)お話のすきな場面を選び、そのわけを考える。 (2)好きな場面の登場人物に向けて手紙を書く。 第13・14時 ＜つたえあおう＞ 5. 書いた手紙を友達と読み合う。 第15時 ＜ふりかえろう＞ 6. この単元で学んだことを振り返る。 (1)はじめとおわりの違いを考えて読む時に気づいたことを振り返る。 (2)友達が書いた手紙を読んで、自分の手紙に付け足したいことを考える。 ※あらすじの確認を2年生と一緒にやる。 ※2年生に書いた手紙を発表し、感想を述べてもらう。また、書いたものの発表を2年生と合同で行い、感想を交流するなどの工夫をする。	【知識・技能】 ◎文の中における主語と述語との関係に気付いている。(I1カ) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C1)オ ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C1)カ ○「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。(B1)オ 【態度】 ・進んで物語の中の言葉のよさに気づき、学習課題に沿って、自分の思いや考えを伝えようとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを讀んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ	16 (書く 6)	八 何が、どのようにかわつたかに気をつけて読み、お話をしようかしよう アレクサンダとぜんまいねずみ 教科書：P126 □■何が、どうかわつたかに気をつけて読み、あらすじをまとめて書き、お話を紹介する。 ★ここが大事：あらすじをまとめる ☆学習用語：登場人物、出来事、変化、あらすじ	読む	第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 単元の見通しをもつ。 第2・3時 ＜たしかめよう＞ 2. 登場人物と出来事の順序を確認する。 (1)登場人物や主なできごとを確かめる。 (2)アレクサンダは2つの挿絵の場面で、それぞれどんな願い事をしようとしていたかを考える。 第4～11時 ＜くわしくよもう＞ 3. アレクサンダが願いを変えた場面について詳しく読む。 (1)アレクサンダは、いつ自分の考えを変えたのか、話し合う。 (2)アレクサンダは、なぜ考えを変えたのか、話し合う。 第12・13時 ＜まとめよう＞ 4. アレクサンダが願いを変えたことについて自分の考えを書く。 第14～16時 ＜つたえあおう＞ 5. あらすじと心に残った場面をまとめて、友達に紹介する。 ＜ふりかえろう＞ 6. この単元で学んだことを振り返る。 (1)あらすじをまとめるときに気を付けることを振り返る。 (2)あらすじをまとめて改めて紹介してみたいお話がないか振り返る。 ※あらすじのまとめ方について1年生と一緒に学習し振り返り、自分の学習活動に生かす。 ※1年生に書いたものを発表し、感想を述べてもらう。また、書いたものの発表を1年生と合同で行い、感想を交流するなどの工夫をする。	【知識・技能】 ◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(I1ア) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C1)オ ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C1)カ ○「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。(B1)オ 【態度】 ・進んで自分の体験と結びつけながらお話を読み、登場人物の行動や場面の様子に着目し、今までの学習を生かしてあらすじをまとめようとしている。 【言語活動例】 ・読み聞かせを聞いたり物語などを讀んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。(C2)イ

		一年				二年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	2 (話す聞 く1 ・書く 1)	こくごの がくしゅう これ まで これから 教科書：P140 ■◇一年間の国語学習を振り 返ったり、これからの学習に ついて考えたりして、楽しみ ながら学習できるようにす る。	書く	第1・2時 1. どんな言葉を学んできたのか思い出す。 2. 思い出したことをみんなで交流し、共有する。 3. 2年生でどんな学習をしたいか希望を出し合う。 ※教師も交えてこれまでの学習をふり返ったり、2年生と合同でこれま での学習の振り返りや今後の学習についてなどを交流し合ったりす る。	【思考・判断・表現】 ○「話すこと・聞くこと」において、身近 なことや経験したことなどから話題を決 め、伝え合うために必要な事柄を選んでは いる。(A(1)ア) ◎「書くこと」において、経験したことや 想像したことなどから書くことを見付け、 必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝 えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・進んで話題を決め、今までの学習を生か して思い出したことや2年生でどんな学習 をしたいかを共有しようとしている。 【言語活動例】 ・身近なことや経験したことを報告した り、観察したことを記録したりするなど、 見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)	2 (話す聞 く1・ 書く1)	国語の学習 これまで これ から 教科書：P144 ■◇一年間の国語学習を振り 返ったり、これからの学習に ついて考えたりして、楽しみ ながら学習できるようにす る。	書く	第1時 1. 1年間の国語の学習で学んできたことや言葉を思い出して書いた り、出し合ったりする。 第2時 2. 1で出し合ったことをもとにして、3年生の国語で学びたいこと を出し合う。 ※教師も交えてこれまでの学習をふり返ったり、1年生と合同でこれま での学習の振り返りや今後の学習についてなどを交流し合ったりす る。	【思考・判断・表現】 ○「話すこと・聞くこと」において、話し 手が知らせたいことや自分が聞きたいこと を落とさないように集中して聞き、話の内 容を捉えて感想をもっている。(A(工)) ◎「書くこと」において、経験したことや 想像したことなどから書くことを見付け、 必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝 えたいことを明確にしている。(B(ア)) 【態度】 ・進んで経験したことから書くことを見付 け、今までの学習を生かして思い出したこ とや3年生でどんな学習をしたいかを共有 しようとしている。 【言語活動例】 ・身近なことや経験したことを報告した り、観察したことを記録したりするなど、 見聞きしたことを書く活動。(B(2)ア)